

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(135)、(168)」

2. 日時：令和5年2月3日（金）13時30分～15時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、野田企画調査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、宮脇安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、馬場係員

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他10名※

電力中央研究所 1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）第1078回審査会合を踏まえ認識した課題への対応方針

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁の意識です。時間になりましたのでヒアリングの方を始めます。
0:00:09	これからのヒアリングですけれども、浜岡原子力発電所敷地の地質地質構造のコメント回答ということで、
0:00:18	本日付の資料でご説明をいただく予定になっております。
0:00:22	それでは、中部電力より資料の説明の方をお願いいたします。
0:00:29	はい。中部電力浜野でございます。12月23日に実施されました第1017、1078回審査会合で、いただきましたコメントを踏まえて、衛藤、
0:00:42	地質の対応方針等の論理構成と、どういうもくろみで調査をしていくかというところ、
0:00:50	記載して参りましたのでご説明させていただきます。30分弱かと思えますよろしくをお願いいたします。
0:01:04	中部電力の森本でございます。それでは資料説明させていただきます。
0:01:10	表紙めくっていただきましてまず1ページ目。
0:01:14	前回会合資料からの変更点ということで、
0:01:17	前回12月の会合における説明内容一番上に記載しております。
0:01:22	追加調査としてですね、
0:01:26	9月の会合で認識した課題に対しまして、
0:01:29	その課題を回避するために漏れなく計画した幅広い調査について、
0:01:33	従来の論理構成との関係性も含めて、説明しておりますと。
0:01:38	それどちらかというですねちゃらの調査の網羅性に力点を置いてご説明したというものでございますが、
0:01:45	12月の会合においてご指摘としてですね、どういった調査でどういった部署を取りに行くのか。
0:01:51	評価それから、調査方針の全体法全体像について再度ご説明することというご指摘をいただいております。
0:01:58	こういったご指摘踏まえまして、下の他の部分になりますけれども今回は、
0:02:05	特にですね泥層の堆積年代評価について、基準適合性を説明するための論理構成として、
0:02:11	今後説明していく、評価内容の全体像をまずお示しした上で、
0:02:16	それに向けての根拠となる物性取得のために、必要と考えまして現在実施しております。追加調査について、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	その具体的な内容と、もくろみを説明する資料としてございます。
0:02:31	今回お示しする、今後ですね
0:02:35	こういう形で全部説明していきますという資料構成ですとか評価内容の全体像につきましては、
0:02:43	12月の会合でご説明した。
0:02:46	78回、審査会合における論理構成。
0:02:50	いわゆる説明、資料上のフローになりますけれども、
0:02:54	エコ、
0:02:55	これは再構成したものでございまして、基本的な論理展開に変更はないというものでございます。
0:03:02	次2ページになりますが、まずH9断層の活動性評価をどういった方針でやっていくのかという、まず、そちらの上流側の辺りをまとめてございます。
0:03:13	二つ目の黄色い箱になりますが、
0:03:17	A1断層の活動性、これはD I Sを上載層として上載地層法により評価して参ります。
0:03:25	で、活動性評価としてはですね、その泥層というのが1級断層により変位変形を及ぼされていないことと、いうことと、その泥層自体が、約12から13万年前以降の堆積物であること。
0:03:38	この両方をともに確認することで、地球断層が別から13万年前以降において活動していないことを示していく方針でございます。
0:03:50	このうち、泥層の堆積年代評価に当たりましては、コメントも9月の会合でいただいておりますけれども、まず御前崎地域に分布する上部更新統、これを中心とした、
0:04:01	堆積物に関する文献調査を行いまして、
0:04:05	その結果に基づいてですね、まず評価方針とし、というのをしっかりお示しした上で検討を進めて、
0:04:12	参ります。
0:04:15	下の図というのは、まず左側、1断層系全体ですね活動性評価、青の資料の構成をお示したものでございます。
0:04:25	このうち地球断層の活動性に関するところは、一番最後の部分になりますけれども、
0:04:31	その右側の図に移りまして、上載層に変形がないということと、
0:04:37	その上載層時代の堆積年代評価この二本立てで説明をしていくと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:42	いうものでございます。
0:04:44	今震災面でいただいているところが、この 4.6. 二章と、
0:04:50	しております。泥層の堆積年代評価に関する部分でございますので、
0:04:55	この資料でもですねそちらの説明方針を示しているのと。
0:05:00	旨をこのスライドの一番下の箱の部分に記載しております。
0:05:07	次の 3 ページの方に移っていただきまして、泥層の堆積年代評価のまず 大枠の方針を、こちらでお示し、
0:05:18	しております。
0:05:19	上の箱書きになりますけれども、
0:05:24	礫の堆積の評価に当たりましては、まず泥層の中に、約 12 から 13 万年 前より古い火山灰が含まれていることを、
0:05:32	を確認すると。
0:05:34	ということと、
0:05:36	または、泥層が、
0:05:39	112.5 万年前の高海面期の海成段丘堆積物よりも古い堆積物であること の確認。
0:05:46	これのいずれかをもってですねそうね堆積年代が 112 から 13 万年前以 前であることを示していく予定でございます。
0:05:55	また、泥層と B F 4 地点における、B F の地点付近において確認される 堆積物との層序関係ですとか、
0:06:06	泥層と古谷泥層との対比についても、検討を行いまして、D 層の堆積年 代が約 12 から 13 万年前以前であるということの裏付けについても、
0:06:17	合わせて行っているという形で資料をまとめていきたいと考えておりま す。
0:06:23	下のまず、につきましては、その堆積年代評価をどういった形で説明し ていくのかという論理構成と資料の構成も併せてですね、
0:06:34	示しているということでございます。
0:06:39	津野真ん中の辺りになりますけれども、底層中に約 12 から 13 万枚前の 火山灰が含まれることの確認というのを、火山灰調査から示していく と。
0:06:49	いう行為と、その隣、泥層が 61.5 万年前の高海面期の海成段丘堆積物よ りも古い堆積物であると。
0:06:58	ということの確認を、泥層の分布と性状、いわゆる堆積物の調査で示して いくと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:05	いう二本立てで説明していくというものでございます。
0:07:09	この後この辺りの中身をご説明して参ります。
0:07:14	この3ページのですね、この右側の、
0:07:18	分布と性状をお示していくとその過程の中で、
0:07:22	前回9月の審査会合において、課題だということで我々も認識しております。
0:07:29	泥層は御前崎地域に広域的に分布する堆積物であるということと、ベースは解析部、海成堆積物であるというところを物資を持って、示していくと。
0:07:40	いうことをやっていきます。それから、
0:07:45	値段を示した後にですね古谷泥層との対比を行っていく中で、
0:07:50	もう一つの課題でありました、丸Cとしておりますが、
0:07:54	泥層は古谷泥層カーブに対比されるというところについてもこちらについての部署を持って示していくと。
0:08:00	いう流れでご説明を考えております。
0:08:05	次4ページは、前回年末の会合でもお示ししておりますが、
0:08:12	9月の審査会合の旧論理構成をですね説明フローとして、
0:08:16	お示したものでございます。
0:08:19	先ほどの課題の三つ、色で箱で囲った部分。
0:08:26	当間対応関係ということで参考までに今回、
0:08:29	このページの債権という形でつけさせていただきました。
0:08:35	次の5ページからになりますが、まず、
0:08:40	真ん中の辺りにですね赤字で記載しておりますが、
0:08:44	j層の堆積年代評価にあたって、火山灰分、阿波医長それから堆積物調査の二本立てで行っていくんですけどもそれぞれの
0:08:54	検討方針をご説明して参ります。
0:08:59	6ページをお願いします。
0:09:07	まず火山灰調査の方ですね、泥層中に、約12から13万年前以前の火山灰が含まれることを確認していくというところですけども、
0:09:16	こういった古い火山灰が含まれるということが、地層中に含まれるということが確認できれば、OKと。
0:09:23	ということで、
0:09:25	火山灰についてですね微量な火山灰クリプト T e p h r a もを対象を含めて分析を実施していく予定で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:33	ございます。
0:09:34	従来よりお示しご説明しておりますが、泥層中に、火山ガラスというのはほとんど含まれていないというのが実情でございますけれども、
0:09:44	今回クリプトT e p h r aの件数についても、これを見まして、特にですね、
0:09:51	ガラスではなくて、出村金の角閃石のに着目した調査を実施する予定でございます。
0:09:58	また後程、詳しくご説明いたします。
0:10:02	それから続きまして、泥層が12.5万年前の海成段丘堆積物よりも古い堆積物だということの確認にあたってですけれども、
0:10:14	すごいのは12.5万年前の、
0:10:17	海成段丘堆積物が古いんだということが確認できれば、
0:10:22	課題はクリアということになるわけですけれども、
0:10:26	その下にお示ししておりますように、江崎地域において、標高を50メートルに分布している0層と、
0:10:34	円は、監視委員会新規の堆積物であれば、12.5万年前の高海面期の海成段丘堆積物よりも古い堆積物だと。
0:10:44	言えますので、
0:10:46	そこでグローバルな現象である開始に伴う堆積物、これの特徴であります広域に分布すると。
0:10:55	ということと、
0:10:57	海成堆積物の特徴を示すと、この両方をカギカッコ泥層が持つということを確認して参ります。
0:11:07	で、その下にはですね先ほど、
0:11:13	耐震上の堆積物であれば12.5万年前よりも古いと、示しておりますけれどもその辺りの理由を記載して、
0:11:21	おります。
0:11:24	まず一般的な海成段丘堆積物の堆積年代評価の
0:11:29	原理といたしますか、
0:11:32	地層として、1、
0:11:34	記載を行っております。
0:11:37	いわゆる海成ための形成する堆積物であります。海成段丘堆積物ですけれども、
0:11:45	これは汀線付近で堆積したものと考えられますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:50	その対比物自体が、これに該当するといえはその分布標高が堆積時のカイスイジンと、
0:11:58	みなすことができますので、
0:12:00	地域の隆起量を考慮した上で、海水準変動曲線に、下の図のように照らしますと堆積年代を評価できると。
0:12:08	いうふう原理でございます。
0:12:11	次のページ移っていただきまして、一方で泥層の性状で考えておりますと、
0:12:20	ベース堆積物でございまして一般的な海成段丘堆積物のような、砂礫室ではございませんので、
0:12:28	泥層そのものがですね海成段丘堆積物ではないと考えられます。
0:12:34	そういった中で年代を評価していこうというふうに考えますと、海成段丘堆積物に順次、
0:12:40	ある、高海面期よりも古い時代だという位置付けで堆積年代を評価できること、すなわち、
0:12:47	泥層が大勢河成段丘対策部会のもので、高海面期直前の、
0:12:52	回診期の堆積物だということを示して、
0:12:56	いきます。
0:12:59	続いて
0:13:00	海成受変動の規模と、回診期の堆積物があるのかなのかというところを整理したのが、次の
0:13:10	ポツの部分になります。
0:13:13	いわゆる t e r m i n a t i o n と 言 わ れ る よ う な、大規模な海水準変動を伴う、氷期から間氷期の移行期間、
0:13:20	におきましては、
0:13:22	谷内家がおぼれ何かしまして、内湾から井形環境となり、そのあと、
0:13:28	海浜環境となる堆積するの変遷が認められると、これは一般的に知られていることですが、
0:13:36	ですので、改選期の内湾から平田堆積物の上位に、高海面期の海成段丘堆積物がうろこ乗ることが多いと。
0:13:47	されております。関東ですとか、そういった地域でも、もう幅広に知られている。
0:13:54	金谷杉システムになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:56	一方で、5Dから5Cだとか5Bから5Aみたいな、比較的小規模な海水準変動におきましては、特にですね直前大規模改修に伴いタニ付けが、待っている場合、
0:14:11	低海面期にタニ付けが形成されにくくなりますので、
0:14:15	突然いきなりですね、長尾カラー干潟環境へずに、海浜環境となりまして、
0:14:23	不整合関係にある堆積物の上に海成段丘堆積物が直接載っていることが多いのかと。
0:14:30	考えております。ところがパート等の事例でよく知られてる現象になります。
0:14:36	御前崎に照らすとどうかということはその下に記載しておりますが、
0:14:41	御前崎地域におきましてはM I S 6 から 5 位の堆積物として、
0:14:46	π 新規におぼれ谷を埋積した古谷泥層。
0:14:51	いうなイワセの堆積物が、
0:14:54	作られておましてその上位に、
0:14:55	海成段丘堆積物ある。
0:14:58	1000 海成の両松原砂層が載っております。これらがですね 6 から 5 位の、大規模な海水準変動のこういう痕跡と、
0:15:08	考えられます。
0:15:10	一方で小規模な改新英語でいいから、5Cだとか、5Bから5Aの堆積物としては、
0:15:20	海成段丘堆積物であります。京松原札をする、ごめんなさい。笠名礫層、それから御前崎礫層が、不整合関係にある古谷泥層を、
0:15:31	または、相良層に波食台を形成して載っていると。
0:15:36	いう状態ですので、これは5位までにタニ付が埋まった後、小規模な海水準変動の痕跡と、
0:15:44	考えられます。
0:15:45	前田地域にはですね、これらの段丘堆積物の下位に谷埋め堆積物の下位新規の堆積物の存在はこれまで知られていないと。
0:15:54	いうものでございます。
0:15:57	その下標高を整理したものを、図6の断面図とともにお示しておりますが、今日松原砂層の分布標高は大体100から70メートル、笠名礫層が70から40メートル御前崎礫層が、
0:16:12	40から20メートルに分布、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:16	しております。
0:16:18	こういった状況だというチェックです。
0:16:23	で、またちょっと次のページの方まで跨っておりますが、8ページをお願いします。
0:16:31	泥層が回診期の堆積物であった場合、こういった堆積年代になるのかというところを最後に記載しております。
0:16:40	泥層の分布標高標高 50 メートルになりますので、これは海成段丘堆積物の笠名礫層の分布標高に、
0:16:48	当たります。
0:16:49	ですので、この泥層がですねか新規の堆積物であったとしても、まず、より低い標高に分布する御前崎礫層は、0 層状井野を海成段丘堆積物には該当しないと。
0:17:03	考えられます。
0:17:05	で、笠名礫層につきましても、概ね同標高に分布するということと、
0:17:10	その間に 3 人堆積物等の買入新規の堆積物というのは知られておりませんので、これらも、0 層状井野海成段丘堆積物には該当しないと。
0:17:21	いうふうに考えられます。
0:17:22	一方で、郷委員の今日松原層はどうかと見てみますと、こちら泥層よりも高い標高に分布しておりますし、単に回診期の堆積物を伴うということで知られておりますので、
0:17:35	泥層若井新規の堆積物であったとすると、今日松原砂層というのは、0 層状猪野。
0:17:41	残休堆積物に該当すると。
0:17:44	考えられます。すなわち、泥層若井新規の堆積物であれば、5 位の高海面期、12.5 万年前より古い田井時代の堆積物であると。
0:17:54	いるというものでございます。
0:17:57	その下小名書きで、二つ、記載をしておりますがとはいえですね。
0:18:03	過去の泥層というのが、笠名礫層の分布標高に分布していると。
0:18:09	いうことは事実でございますので、
0:18:12	粒度分析等を通じまして、海成段丘堆積物との違い、こちらは定量的にお示ししていく予定でございます。
0:18:20	それから泥層そのものが、笠名礫層と同じ時代の堆積物でない。
0:18:25	ということについても、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:27	後椎野広域テフラが、このレースの中に認められないことを確認するなどしましてこちらについてもあわせて検討を行って、
0:18:36	参ります。
0:18:39	それから、先ほど郷椎野を変え新規の堆積物はないと考えられるという趣旨のご説明をさせていただきましたけれども、
0:18:48	まず
0:18:50	知られていないということで、泥層もこれに該当しないと考えられますけれども、
0:18:55	この未確認は局所的な、
0:18:57	ご支援の段丘堆積物下位の堆積物が存在している可能性もございますので、
0:19:05	B F 4 地点の鍵括弧の泥層これが
0:19:10	椎野甲斐人事のですね、堆積物に該当しないことを、
0:19:14	泥層が広範囲。
0:19:16	例えば範囲としては、笠名礫層の分布範囲も広いなどですねそういった、ある一定の広さを持って分布する堆積物であることを、
0:19:24	確認していく予定でございます。
0:19:27	こういった検討を、この
0:19:29	行ってですね。
0:19:31	ええ。
0:19:32	行っていく予定でございます。また具体的に何を確認していくのかというところはちょうどオオノスライドでご説明します。
0:19:41	そういった検討を一通り行った後、泥層の層序についての検討それから、泥層と古谷泥層の対比についての検討を行って参りますこれは
0:19:52	年代の裏付けと言う位置付けで実施する検討になります。
0:19:58	まず層状についてですけれども、B F 4 地点付近におきまして今調査を一生懸命やっておりますけれども、こういったエリアで、
0:20:06	海成だ海成堆積物ですとか、泥層を削り込む堆積物というのが確認された場合は、
0:20:12	これらの堆積物と、B F 4 地点の泥層－層状を組むことで、泥層の堆積年代が漸移から 13 万年前以前だとする評価の裏付けができる。
0:20:25	ということで、そういった検討も行っていくものでございます。
0:20:30	で、そうした古谷泥層の対比については、こちらについても、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:38	泥層が御前崎地域に分布する、すごい堆積物である古谷泥層、これに一部を当てると、これの一部に当たるということを示すことができれば、売らず、その評価の裏付けになりますので、
0:20:51	こういった確認も行っていく。
0:20:54	皆を記載して、
0:20:55	明日、
0:20:59	先ほど冒頭申しましたように、基本的にはですね代表課としては、
0:21:06	12.5 万年前の高海面期の海成段丘堆積物よりも古い前野甲斐新規の堆積物だということを示していくところを、習熟として、
0:21:16	火山灰の調査等を並行してやっていくと。
0:21:21	いう流れでございます。
0:21:24	次 9 ページになりますが、ここからはですね、
0:21:28	先ほど 6 ページから 8 ページにわたって少しあと長めになりましたけれども、
0:21:36	泥層の分布等性状から、何を説明するんだと。
0:21:41	いうところの検討をもう少し踏み込んだ内容と、
0:21:45	あと追加調査全体のことですね、今後説明してく評価内容に向けてどういった調査をやっていってそれは何をねらっているのかというところをご説明させていただきます。
0:21:58	10 ページをお願いします。
0:22:07	10 ページの内容は泥層の分布と性状法を調べることでどういったことを行っていくのかということをお示し、
0:22:15	しております。
0:22:18	高海面期よりも、古い海水期の堆積物だということを示していくというのが、この検討のゴールになりますけれども、
0:22:28	そのために、上の箱書きの部分、最後の方になりますが、
0:22:33	グローバルな現象である海成に伴う堆積物であれば、広域に分布するそれから海成堆積物の性状を示すとこの両方の特徴を持つと考えられますので、
0:22:43	ディーエムエスの泥層というのがこの特徴を持っていることを確認するという検討になります。
0:22:52	まず①、分布についてです。
0:22:57	御前崎に広域的に分布するということを確認して参ります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:01	まず、文献調査で、野間江崎に分布するベース堆積物、これを網羅的に調査しまして、
0:23:08	まずは泥層と共通した特徴が何なのかという整理の検討から、2、スタートになりますけれども、
0:23:14	そういった何なのかという整理をした上で、この特徴を持つ。
0:23:19	堆積物というのがお前、
0:23:21	先に広域的に広がっていることを示しています。
0:23:25	それから地表踏査元土壌調査、こちらの前回の会合でも、ご説明させていただきましたけれども、
0:23:33	このデータは広域的に分布する堆積物であれば、
0:23:37	少なくともB F 4 地点付近の標高 50 メートル、あたりにおいてはですね同様な堆積物が、
0:23:43	分布すると。
0:23:45	考えられますので、こういった堆積物の分布を明らかにすることを目的と。
0:23:50	しております。
0:23:53	で、次露頭ボーリングトレンチ調査としておりますが、なかなか文献ですとか、県土上、こういった調査では、
0:24:02	基礎が何者なのかというところはしなかなか、
0:24:08	詳細には把握しきれないところがございますので、
0:24:11	実際にその堆積物が何者なのかと、層相ですとか、構成粒子の粒度、
0:24:18	それから花粉等の含有量、これを詳細に確認することで、泥層と共通した特徴も堆積物かどうかという判断を、本調査で行って参ります。
0:24:30	次詳細地形計測としておりますが、
0:24:34	こちらでもD E M等を利用いたしまして、露頭だとかボーリングだとしても点のデータになりますので、こういった点のデータをつなぎ合わせて断面図、
0:24:46	平面図を作成いたしまして、
0:24:49	B F 4 地点からB F 1 地点あたりのスケールでD種堆積物の分布と地形との関係を明らかにして層状関係等を説明していきたい。
0:25:01	考えております。
0:25:04	次②性状についてですけれども、こちらのデータと同層準の堆積物が海水堆積物の特徴式を持つということを確認していきます。
0:25:17	なかなかB F 4 地点の0層は、海成堆積物だと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:23	明らかに判断できるような基準がなかなか見つからなかったということもございますので、
0:25:28	B F 4 地点付近で調査を行って、海成生物化石ですとか、海成堆積物に相当する C s 比が出る、こういった明らかに海成と判断できる性状を持つ。
0:25:40	堆積物がないかという確認を、
0:25:42	漏斗ボーリングトレンチの調査で、二章を検討していきます。
0:25:49	こういった体制、海成堆積物と認められる堆積物が確認された場合になりますけれども、この堆積物が、
0:25:59	A 1 級断層の上載層である泥層と同じ層準だということを、断面図等を使って、確認していく行為を、を実施していく予定でございます。
0:26:10	一番最後目指す結論としておりますが、
0:26:14	この鍵括弧泥層と共通した特徴を持つ流出堆積物が燃えたときに、広域的に広がっていると。
0:26:21	ということと、同じ層準の地層が海成堆積物の特徴を持つということが確認できれば、
0:26:27	泥層は海成段丘堆積物会の回診期の堆積物だということが言えまして、
0:26:33	分布標高から考えますと、112.5 万年前の、高海面期の海水段丘堆積物よりも古い堆積物だと。
0:26:41	いう評価ができると考えております。
0:26:46	次 11 ページの内容ですけれどももう少し先ほど 10 ページの
0:26:52	真ん中の方にですね、書いていた。
0:26:55	地表踏査ですとか、泥層とボーリングトレンチから、こういったもくろみで調査をやっているのかというところを文章でまとめてございます。
0:27:06	まず二つ目の箱書きは、残留堆積物の調査という、火山んばい分析、火山。
0:27:13	杯調査の内容を、
0:27:15	記載しております。
0:27:17	これこちらわかりやすく、12.
0:27:22	2 から 13 万年前に古井火山灰が入ってることが確認できればということ
0:27:28	で、
0:27:28	そこをねらって調査をしておりますが、
0:27:31	今まで

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:32	なかなか火山ガラスもDFの点から出てなかったということで、もう少し微妙な
0:27:39	火山鉱物を対象に分析を行っていくと。
0:27:42	いうものです。
0:27:44	具体的にはですね、町子キーのコア試料の分析で、M I S 6 からM I S 5 eに降灰されたと。
0:27:51	されている角閃石テフラがございまして、そういったテフラとの対比も実施をしていく予定でございまして。
0:28:00	その下、こちら下海成段丘堆積物よりも古い堆積物だということを、カンシンキの堆積物であることを示していく。
0:28:09	ことで
0:28:11	という検討になります、
0:28:13	まず地表踏査、剣道場調査のもくろみ。
0:28:18	でございます。
0:28:19	B F 4 地点付近においての広がりをもって分布する堆積物だということが言えれば、まずそれだけで局所的な堆積物でないということも言えますし、広域的に分布する堆積物であるということが基礎資料にもなると考えております。
0:28:37	これまで主に地表踏査結果を基に作成しておりましたが、再度表土にあれ確認できなかった範囲も今回新たに実施していくというところが、新しい着眼点になっております。
0:28:51	その次露頭ボーリングトレンチの調査になりますが、
0:28:56	こちらについては、なかなか県土壌だとか文献では判断し切れない、細かな層相ですとかそういったところを確認することで、
0:29:04	泥層と共通した特徴を持つ堆積物だという判断が可能になると考えております。
0:29:17	この
0:29:20	追加の
0:29:22	ボーリングだとかトレンチ調査によりまして、海成堆積物だと。
0:29:27	ということが明らかに判断できる性状が見つければですね、これがB F 4 地点で確認される泥層を都道層準だと示す上での基礎資料になると。
0:29:37	考えております。
0:29:39	で、これら調査に加えまして、
0:29:42	下の紫色の箱の部分になりますが、もう従来が一番早期の活動性、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:49	についての評価方針これにとらわれない追加調査についても、並行して実施をしていく予定でございます。
0:29:56	具体的な内容が、13 ページにはいます。
0:30:02	こちら現地確認の際もご確認いただきました B F 1 地点での調査内容を主に、
0:30:09	に記載しております。
0:30:11	箱書き 2 ポツの部分からになりますが、
0:30:14	B F 1 地点のレース堆積物を上載層とした年代評価についても検討していると。
0:30:21	2 号でございます。
0:30:25	この評価に当たりましては、
0:30:28	3 ポツの部分になりますが、1 断層系がまず現在確認できている。
0:30:33	最北部、H9 断層よりもキタガワ、B F 1 地点まで分布しているということを確認することと、
0:30:43	その B F 1 地点の H 断層系が提出堆積物にしっかり覆われているということ、今反射法地震探査やボーリング調査等によりまして確認していると。
0:30:54	いうものでございますこの D 種堆積物、F H A の D C 堆積物が文献だと古谷泥層、
0:31:01	されているものでございまして、
0:31:03	A 層厚としても比較的厚く堆積している点が、B F 4 地点よりもメリットがあると。
0:31:09	いう観点で今調査を進めているところでございます。
0:31:15	次 14 ページの内容になりますが、現在の
0:31:20	我々の考えているスケジュールでございます。
0:31:25	追加調査が年末と御説明した段階よりも少しずれ、試料分析等の関係でずれ込んできております。
0:31:35	年末ですと、調査結果についてのご説明というのは、大体今ぐらいの時期です 2 月頭から末ぐらいにかけて、できるのではないかという見込みをご説明しておりましたが、
0:31:47	現在の進捗ですと、
0:31:49	大体 3 月の上旬から中旬にかけて、調査結果についてご説明。
0:31:54	できるのではないかという見込みでおります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:58	で、先ほどご説明したBF1地点の調査については並行して、審査と並行して実施している。
0:32:06	いうものでございます。
0:32:10	年末の会合からですね新たに
0:32:15	と見直して主にですね見直してきた部分、資料については、の説明は以上になります。
0:32:22	この後15ページからは、主に前回資料からの修正それから再掲になりますけれども、
0:32:30	まず15ページからの内容は、9月の会合で認識させていただいた課題に対して追加調査がどういった対応をしているのかというところを網羅的に示したものです。
0:32:44	少し今回の記載に合わせて修正は行っております。
0:32:48	あとそれから19ページからは追加調査の状況ということで、これも年末、御説明の内容からは変わっておりませんが、
0:32:56	今、重点的にやっているということで、泥層の分布、
0:33:02	県道城等を使って調べているという内容と、
0:33:07	あと22ページ。
0:33:09	泥層整合に覆っている可能性ある堆積物が見つかったので、そこについての確認をやっているというように示させていただいております。
0:33:20	それから24ページからは、前回9月の説明内容と、そこで認識、共通認識として持たせていただいた課題の内容を再掲と。
0:33:30	いう形でまとめさせていただいております。
0:33:36	本日の資料の説明は以上になります。
0:33:44	はい。規制庁のニシキです。説明ありがとうございました。
0:33:48	それでは
0:33:49	説明いただいた資料について、こちらから確認の方をさせていただきたいと思います。
0:33:57	まず私の方からなんですけれども、まず12月の会合において、
0:34:05	どういったもくろみとかあるんですかとかどういった方針でやっていくんですかってことについての
0:34:10	まず大枠みたいなどころのお話等もさせていただいたところでまず2ページ目のところで、
0:34:16	ですけれども、4.6章の中の、
0:34:20	4.6と1と4.6というわけでこういった、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:25	中出さらに 4.6. 2 か、この中で、さらに二つに分ける内容にちょっと説明していくんですけどっていうのは、
0:34:32	今日ご説明があって、
0:34:34	3 ページ目の方に舞台入っていくわけですけどもその中で、
0:34:40	今回火山灰、直接その何て言いますか年代感を得るための、して物を取りに行きますよっていうものと、それが 4.6 点。
0:34:51	4.6. 2.2 で、4.6. 2.3 のところは、従前の調査を、
0:34:58	流れを、のところでの話かというふうにまずは理解したところなんですけれども、まずここですれ大きく二つ、
0:35:07	の主をやりますよという風に書かれてて、真ん中の 3 ページ目でいきますと真ん中の方のところで青字で、
0:35:16	具体的にどういうことをしますよってことで例えば火山灰調査の方ですと、泥層の中に十二、三万年前以前の火山灰が含まれることを確認というような形で書かれているんですけども、ちょっとこれなんか、
0:35:29	微妙な書き方をされてるような感じがしてしまって、
0:35:33	あれですよねあくまでもその年代指標として取りに行くということでおっしゃってるかと思うんですけども、この火山灰が含まれてることを確認という書き方だと、何か、ただ含まれていけばいいんじゃないのかっていうようなふうにも読めるんですけどもその辺りどうい。
0:35:49	イメージでここを書かれてるんでしょうかもう一度ちょっと説明いただけますか。
0:36:14	はい。中部電力の折本です。
0:36:17	理想としてはですね地層の中に、そうとして、そういった火山灰層というものが認められるというのが一番理想形では、
0:36:28	ありますけれども、
0:36:31	現状ですね B F 4 地点の既存の調査結果を見てもなかなかそういった
0:36:37	層として入ってる、
0:36:41	この確認難しいかなと思っておりますで、クリプト T e p h r a も含めて検討と書かせていただきましたけれども、
0:36:48	含まれている火山性の鉱物の一つ一つの成分分析を行っていったですね。
0:36:55	ある程度のクラスターをもって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:59	そういったM I S 6 から三森のテフラが、今と同じ成分の火山鉱物が入っていると、一つ二つ分というわけではなくてですねある程度まとまりをもって入っているというところが重要なと思いますのでそういった観点で、
0:37:14	結果は判断をしていきたいと思っております。
0:37:20	はい。
0:37:22	規制庁ニシキです。やっぱりそういう感じで持たれてるのかなということで要はこれ読むと、販売が含まれているっていう書き方だと、要は、
0:37:32	火山灰っていうものがあればいいんですというふうに見えちゃってそのいわゆるリワークで入ってきたらどうなんですかっていうところにちょっとあれなのかなと思ったんで今のご説明ですと、いわゆる火山灰層が含まれることとか火山灰層もしくは、
0:37:46	降灰層準が含まれるということとニュアンスで発言されたのかなと思うんですけどもそういった意味合いで書かれてるという理解でよろしいですか。
0:37:56	はい森本です今西さんおっしゃったような降灰層準と判断できる
0:38:03	降灰層準がローンを確認するということになりますのでちょっとその辺りはですね記載をもう少し具体的に判断基準等も含めて、
0:38:12	改めさせていただきたいと思えます。
0:38:17	はい。規制庁認識です。
0:38:19	それちょっとその辺の書きぶりの方は見直しいただくとして、ちょっとこれ中身のところに、そして入っていったらうんですけどもクリプトT e p h r aを見つけるってことで、
0:38:32	いわゆる降灰層準を認定するって異なってくると思うんですけどもそこがまた弱くとどう違うんですかっていうのを、区別していく、当たってはなかなか、
0:38:42	難しくなってくるのかなというところで現状その資料上は、塗膜リプロT e p h r aを、
0:38:48	見つけますよってことが書かれているだけなんですけども、それは、いわゆるクリプトテフラ、いわゆる降下火砕物ですねT e p h r a
0:38:57	そこそこと、クリープのまま、なんか見えないとかそういった意味合いだと思っんですけどそういった、いわゆる降ってきてるもの、いわゆる販売ですよっていう判断をするってのはどういったものでできそうかっていうのが、今この資料からは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:11	そこを見ずにまだは、何か含まれてるだけにちょっと読めてしまったんですけどその辺何か、どうすればできそうだったというお考えとかあるんでしょうか、確認させてください。
0:39:33	電中研の笹木です。
0:39:36	衛藤。
0:39:39	具体的には、時代が異なる、他のテフラが入っていないというのも同時に確認しようと思っています。
0:39:48	それで、
0:39:52	リワークであれば、その時代に降ったものではない T e p h r a まざってくるってということが想定されますので、
0:40:00	そういったところで、今、ねらいは M I S 6 から M I S 5 e の間の T e p h r a 。
0:40:08	クリプトテフラというものに注目していますので、全く異なる時代間のものが入っていないかどうかというのも同時に確認するというのを、作業は行っていこうと思います。
0:40:20	以上です。
0:40:23	規制庁ニシキです。お考えについてははい。
0:40:27	わかりました。
0:40:29	そのところでちょっともう少し突っ込んで確認したいんですけども、
0:40:35	まずその点、
0:40:37	何て言いますか、今回、角閃石っていうものは、ガラスとかも降るればなかったりするとかあったりするんですけども、角閃石ってのは、基本風化に強い鉱物なので、
0:40:48	残存してますよってことで、これまでの火山の方の研究でも、火山、テフラ層と認識されてる中で火山ガラスの割っは分析に耐えれないけれども、角閃石がまだ分析に耐えているようなものなので、
0:41:01	角閃石の分析をしてみますっていうようなことで、対比とかで使われてたりするんですけども、それって言うならばその手札ですってことがわかった上での、
0:41:13	角閃石が使えるような状況になるかと思うんですけども、今回
0:41:18	比べようとされているのが河内沖のコアでしたっけ甲斐海底太平洋の海底のコアなので基本そこに、
0:41:28	角閃石が入ってき得るというものは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:31	降ってきてるものしかありえないかと思うんですけども彼らのその浜岡のところというのは、陸上に近いような、陸域に近いところですのでその辺どう区別されるのかなというところ。
0:41:42	何かその角閃石っていうのはそのテフラの角閃石っていうのはやっぱ、実は特徴があるんですとかそういったところまでを見込んだ上でのこれをやられようとしているのかどうかということについて確認させてください。
0:42:00	電中研の笹木です。
0:42:04	まだ
0:42:06	例えば、リワークとして、火山以外の角閃石がまざる可能性としては今は、
0:42:12	相良層、
0:42:14	2もともと入っていたものなどを想定はしているんですが、ちょっとまだ分析を行って、
0:42:21	いるわけではないので具体的ななまろみというところはまだありません。また同時に、そういった基盤が由来のもの。
0:42:29	なんかはちゃんと入っていないかどうかっていうのも、喜田基盤側の中に入っている方、角閃石というものを分析、それは、
0:42:39	具体的には主要元素だけじゃなくて微量元素も含めて、分析を行ってそれとは違うということは言っていこうというふうに思っています。
0:42:53	規制庁の一色です。ありがとうございます。いや、まだその辺の何て言いますかレビューのところまでは、ただバックグラウンドの状況に応じたってことですけども、
0:43:06	角閃石も非常に当然、
0:43:10	そちらもおわかりの話ですけど非常に複雑な組成を持つ持ちうるものなので、
0:43:17	その分析によって区別はつくだろうとは思いますが、個人的には思っているんですけども、その辺どういものが、何かいわゆる何だ、
0:43:29	バックグラウンドどういったもの、この角閃石の組成は、
0:43:33	例えばこういう実際こういう角閃石の組成はこういうふうにプロットされました。そういったものをなんか、多分きちんと示していったかないと、何か、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:42	説得力に欠けてくるのかなと思ったりもしますのでその辺、今のご回答ですと何か検討するをする予定だというふうに、伺えたかと思しますので、その辺はよろしく願いますというところです。
0:44:14	すいません。規制庁鈴木です。今ちょっと、今回新しく入ってきたのかなそういう意味でちょっと火山灰のところの話があったんですけど、
0:44:28	端的に4ページが、9月の時点の
0:44:32	説明の流れですね。
0:44:34	これと、今調査で明らかにした上で説明しようとしてその論理構成って変えてます変えてないです。
0:44:50	はい。中部電力の折本でございます。4ページの内容はですね基本的に3ページの内容で言いますと、
0:44:57	4.6. 2.3 で囲っている部分、泥層の分布と性状に絡むような、
0:45:05	海水系の堆積物だということを示していくところを軸にしてご説明しております。その点に関しては大きいところは変わって、
0:45:15	この構成として変わっておりません。先ほど鈴木さんおっしゃったような火山灰についてはですね、
0:45:21	青でF欄が火山ガラスがありませんでしたよっていうところで、さらっと説明をしちゃってはいたんですが、
0:45:28	今回もう一つの軸として、
0:45:32	追加して説明していくと。
0:45:35	ところをお示しさせていただいたものでございます。
0:45:38	すいませんちょっと聞き方がわかりづらかったのかな。ちょっとじゃあすいませんちょっとまず2ページにいつてもらっているいいですか。
0:45:45	3ページの記載を見ると、この2ページの4.6. 二章のところは、下に横並びで火山灰調査と堆積物調査で書いてますけど、2、3ページの上の記載を見る限り、
0:45:59	これやって安東じゃなくてorですかね。
0:46:02	このどちらか。
0:46:05	もちろんもしかしたら両方がいい結果が出るんで両方で説明して、より説得力のある説明しようと思ってるのかもしれないんですけど、3ページの記載を見ると、どちらかが最後の子。
0:46:16	どちらかはカリン調査で、
0:46:19	片方でいい結果がられば、
0:46:23	落としてもいいっていう意味なんですねまたはだから、この記載、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:30	一行目の記載ですかね 3 ページです。今鈴木さんおっしゃったように、 または檀衛藤は条件で、火山灰、
0:46:38	幾らで古いところとか示せるか。
0:46:41	堆積物の調査で、古いということが示せるか、どちらかが整理すれば
0:46:46	我々としては、
0:46:49	12 から 13 万より古いということがいえると。
0:46:52	母は考えておりました、ただ
0:46:55	調査、どういった結果になるかわからないので両にらみで、そこはやっていくという趣旨でございます。
0:47:03	はい。
0:47:04	いえ。
0:47:04	ちょっとですね、論理構成を変えたんですかっていうざっくりとした聞き方とわかりづらかったんで申し訳ないんですけど 4 ページの、これ前回、9 月の時点のやつですよ。
0:47:14	これって、最終的には、
0:47:18	B F 反射の泥層が 12 から 13 万年前にするよりも古い。
0:47:23	たとえばよくて、ただ、まず 0m R B のところでいわゆる広域なのかとか海成堆積物であるかという、まず一旦、
0:47:33	M I S 5 位を M I S 5 c であるというところで 1 回そこで止まって、そのあとに、じゃあ笠名礫層と特徴はどうだ古谷泥層兜トクソウはどうだという対比をして、
0:47:44	片方の M I S 5 c の可能性を、
0:47:47	系図がないという説明をして M I S 5 e との対比が可能だと言って M I S 5 e といえるんで、12 から 13 万年前より古いだったんですけど、今回のちょっと説明の流れを見ていくとですね 3 ページ目の、
0:48:01	金森の方を新しく追加したんでこれはこれなんですけど、まず、何ていうか古谷泥層との対比だとか、そんなものをする前に、まずは、12、12.5 万年、
0:48:12	だから 12.5 万年前です。これよりも古いと、もうこの時点で、
0:48:18	言い切ってしまった上で、そのあと 2 古谷泥層との対比をして、
0:48:25	という流れになってるので、どこで、
0:48:29	これ 12.5 万年前のよりも古いだと。
0:48:33	これだと足りないって言うていいんですかね。何かちょっとそこら辺が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:38	よくわからなくて、前は三星近江すごいだったところ、ここの段階で12.5万年前よりも古いていうふうに、この段階で言い切った上で、
0:48:48	古谷泥層カーブと対比をして、
0:48:50	対比ができますね、確かに正しかったですねっていうそういう論理で説明して事してるんですこれ。
0:48:59	はい。中部電力の森本です。ちょっと44の資料を前回、
0:49:06	9月、ごめんなさい4ページの紙、スライドをですね前回、年末の会合今のタイトルもそうですけど論理構成と、
0:49:14	そして、
0:49:17	スライドとしても記載して
0:49:21	ご説明をしている、いるんですけども、説明の流れとしてですね順番として、
0:49:27	ある程度、
0:49:28	ごめんなさい。順番として広域だ海成だということを言った上で、後乏しいだという選択肢を残して、し、
0:49:38	最後絞り込みで一つを消すというような行為をやる。
0:49:43	てますで、論理としてはですね、それほど、
0:49:47	変えてなくて、それは3ページ。
0:49:49	の、4.6. 2.3。
0:49:53	前回
0:49:55	互選でご説明した、5市じゃなくて、郷飯田間の合意に対比されると。
0:50:01	いうところは、この4.6. 2.3の中で完結
0:50:06	をしております。
0:50:07	前回籠Cという選択肢を二つ残した。
0:50:12	ていう順番の流れで、流れ、流れでご説明はしてたんですけど今回は、
0:50:18	後飯田というところも含めて、
0:50:22	4.6. 2.3の中で一通り説明した上で、それが古谷泥層という名前がついているものだ。
0:50:30	いうところを、4.6. 2.4であったり2.5のあたりで説明していくと。
0:50:35	ちょっと流れが変わっているというもので論理構成前自体にですね変更があるのではない。
0:50:41	でございます。
0:50:43	ちょっと聞き方変えましょうか4ページで言う笠名礫層。
0:50:48	或いは笠名礫層相当層。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:52	との比較だったりちょっとP1の話もあるんで、
0:50:55	そこら辺の話は4.6、2.3章に入るので、
0:51:00	M I S 5 cの規定は、
0:51:02	4.6、2.3入りますと、でさ、最後その名付けをするのは、
0:51:08	フェア泥層と対比して、ほぼほぼこの古谷泥層の株のものだと言っているでしょうっていうそこを、
0:51:17	整理4.6、2.5章、ちょっとだからあれですね、前回の4ページで言うところのM I S 5 e M I S 5 cって言って、同時並行的にこう比較をしてみましたけど、これのうちM I S 5 cではないっていうのを、
0:51:29	基本的なくせにて3章の中で、
0:51:32	なのかな。
0:51:33	ここで比較するってそういうふうに見ればいいですか。
0:51:39	はいその通りですちょっと前回からの差分ということで、資料としてですねご説明の仕方を我々の中で悩んでいたんですよ今、鈴木さんがおっしゃった通り、
0:51:52	ございます。順番がちょっと説明の順番が変わっているだけでやっている行為ですねやる行為ですね、ティーチだったり、
0:52:00	周りの堆積物の企画っていうところは、
0:52:04	3ページ、4.6、2.3の中で、出題完結させてしまうと。
0:52:09	いう構成を今考えております。
0:52:12	少しその辺がちょっと見にくくなってますので、例えば前回の説明の、
0:52:18	検討内容がどこに入ってくるのかみたいところで、ちょっと補足はさせていただきたいと考えております。
0:52:26	はい。ちょっと工夫いただけますというのも、9、前回の12月の終わりの会合では、一応9月の時の論理構成からは、
0:52:37	変えてませんと変えてなくてその9月の時の論理構成で説明をして、これはこれだと言って課題の共通認識、課題を認識共有して、それをもう直接、
0:52:49	その課題を解決して、同じ論理構成で説明するんですけどっていうそういう話だったので、別にそれを、対応を変えちゃいかんってわけじゃないんですけど、
0:52:58	同じ話の筋で、見ていけばいいのか、論理構成自体を変えましたとって、見ていけばいいのかでちょっと入口でボタンかけ違えるとすれ違うので、すいませんそこの確認をでした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:12	その上で後ろに行く前にちょっと、ちょっと同じニシキの方で確認していた T e p h r a の話なんですテフラって書いて、火山灰の
0:53:23	話なんですけど、
0:53:25	ここで 46 ページとかで行っているこの泥層中についてというのは、これはすでに B F 4 地点のところの、
0:53:36	泥層、
0:53:38	定義ですかそれともう、
0:53:40	B F 4 地点から T 1 の方とかいろんなところでこう、こういう進めて B F 4 地点よりももう少し分厚い
0:53:47	ものがないのかっていうのを探してますよねそういう範囲も含めての、
0:53:51	泥層ですかね。
0:54:02	はい。中部電力の森本です。まずはですね上載層として H 9 断層を直接覆っているところが確認できていると、今まで確認できてる B F 4 地点の、
0:54:13	堆積物を対象に、分析をやっていきたいと思います。で、
0:54:18	今周りをですね一生懸命掘って他に、また熱いリース対策出て来ないかという調査はしておりますが、その地層に関してもですね、その B F 4 地点からの対比、
0:54:30	を行った上で、その
0:54:33	それとの対応関係等も含めてですね、
0:54:37	結果を示していきたいと考えております。
0:54:43	はい。
0:54:44	わかりましたじゃいいます空けあくまで B F 4 地点のところの 0 層ということで見てるわけですね。
0:54:51	今何月でしたっけ。
0:54:54	2 月入ったんですね。
0:54:56	14 ページのところ 2、
0:54:59	全部のスケジュールはもちろんイマイはないんですけど、
0:55:03	ここが P G A 11 との追加調査の対応関係ですとって、前回多分、細かく書いてたやつを、今回の説明の
0:55:14	構成に沿って、の文やすくまとめたんだと思うんですけど、この資料分析が 2 種類あって当然これ冒頭で説明があった火山灰調査と堆積物調査等っていう形で、
0:55:27	説明があるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:30	これを見る限り、今の火山灰調査によって直接、
0:55:35	年代指標を取りに行きますと、
0:55:37	というのは実は 11 月からやりましたという。
0:55:41	ことになってるんですけど、実は 12 月の会合時点では、
0:55:45	何かこういう 2 本柱でっていう認識がなかったもんですから、これっ て、
0:55:52	実は 11 月から計画してたっていうのは間違いないんですかね。
0:55:55	なんか火山灰の説明は、12 月の会合資料もちろんあったんですけど、そ れってあくまでこれまでやってたような、古谷泥層との対比とかです ね、ああいうところでもやってた火山灰の分析を、
0:56:09	もうちょっと分厚い泥層が近くで見つかれば、そこに火山灰があるかも しれないよねという、
0:56:15	ていたもの。
0:56:17	そういう火山灰調査というのは、分析っていうのは認識してたんですけ ど、
0:56:21	何か直接年代を取りに行くような、こういう火山灰分析って、今回初め て返ってきたので、
0:56:27	実際いつからやってたのかなっていう。
0:56:30	それをお聞きしたい。
0:56:42	はい中部電力の森本です。
0:56:44	火山灰分析もいろいろステップがありましてまずそもそも火山鉱物が入 ってない、いるのかないのかみたいのところからスタートになって入っ ていたら、
0:56:56	その幻想の組成がどうなのかみたいな段階を踏んで実施しておりまし て、その最初のステップの、そもそも火山、
0:57:05	鉱物が含まれてるのかないのかみたいところは 1011 月、
0:57:09	年末ご説明した、11 月中旬ぐらいからスタート、
0:57:14	をしております。前回の会合でご指摘いただきまして、
0:57:20	泥層の年代を、12 から 13 まで古いというところをどうやって説明して いこうかという再整理していく中で、やはりオーソドックスが決定的な ねらいしようにテフラになります。
0:57:32	そういったところの位置付けも再整理してですね。
0:57:36	微量元素も含めて、合わせて検討していこうというところでちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:42	今ババを一本で引っ張っちゃってるんですけども、少し詳細なところまで踏み込んだ分析を、
0:57:50	年明けてからスタートさせていると、ちょっとそういう状況でございます。
0:57:58	はい。あれですかもともと、
0:58:01	対比材料とかを探すという意味で、火山灰を探していましたと。
0:58:09	なかなかS T A R I Vで途中で待ってよと、さっきありましたように古澤でしたっけ。
0:58:16	クリプトテフラなんかに着目していったりすると、もう直接年代が指標にもなるんじゃないかと。
0:58:24	いって、そこで高分岐するわけですね、分岐なのかなあ、切り換えたのかな、多分火山灰を探すという、
0:58:31	探してどうしてもそれをどう使うかっていうところの目的が途中で変わったということですねそれもそれで書いたのはカイダで結構だと思うんですけど、わかりましごめんなさい、他の
0:58:42	調査としては火山灰を探すというところは、これはずっと続いてたわけですね。
0:58:47	ちなみに、さっき
0:58:52	だから、
0:58:53	テフラ起源のその角閃石が見つかったとかっていうそういう断面ではなくて、
0:58:59	まだ、そうですね、着目す点を切り換えているので、
0:59:04	ちょっと今スケジュールでいくともう2月のあと10日ぐらいで、
0:59:10	調査の実践が終わるので、
0:59:12	もうそろそろ出てきてるのかなと思ったのですが、まだ別に見つけたわけではないということですね。粗相す総数のサンプルで、
0:59:27	一応中部電力の森本です。まず角閃石がどれだけ含まれるかと。
0:59:35	ということで、
0:59:37	ある程度分析できそうな数は確保できそうだと。
0:59:41	いうところの見込みが間に合ってる状態で、その、
0:59:45	色の成分がどうなのかっていうところは今、
0:59:49	分析を実施していると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:51	いうことはわかりました。はい。順調にいくと、この実線かないしは多少点線にはみ出るぐらいで結果をやらせる。付けられそうだということですね。わかりました。ありがとうございます。一貫。
1:00:05	T e p h r aのところまでは、
1:00:13	戸谷です。ちょっと鈴木さんの確認とかぶってしまうのかもしれないんですけど僕も気になったのが、このなんか調査もこうこうやってやっていきますっていう話の中で、
1:00:23	何か今まで調査を進めてきてこういうことがわかったから、だからこういう方向にしたんだっていうものがあるんだったら、それをちょっと教えて欲しいんですけども、今何かあれなんですか、その。
1:00:35	特にこの、
1:00:36	調査を進めて、
1:00:38	だからこういう話になったんだっていうんじゃないかって、
1:00:43	よくよくこう考えて整理してみたら、今のような方針、
1:00:48	になったって話のちょっとその辺、
1:00:52	この部分はもう調査を進めてって、
1:00:55	大分
1:00:57	いけそうなんだとかいう、
1:01:01	それで方針を変えてるんだとかいうのがあるんだったらちょっと今聞いときたいなって思うんですけども、今の火山灰については、
1:01:11	何かそんなこうべ見込みが立って話してるって話でもなさそうだったんですけど。
1:01:19	ちょっとその辺今の進んで調査を進めてきてわかったこととの関係でいうと、何かほか、ここの場で追加で説明できることってありますか。
1:01:41	はい。中部電力の森本です。
1:01:44	数が1として3ページを使いながらご説明させていただきたいんですけども、
1:01:53	先ほど火山灰の話は角閃石が、
1:01:58	ある程度は入っているというお話をさせていただきましたが従来、
1:02:03	審査資料で示しております鉱物量からそれほど、
1:02:07	大差ない結果でございます何か新たに
1:02:11	目が立ったから、ここの火山灰についてもトライしてみようというわけではなくてですね。
1:02:17	その基準適合性、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:19	というところをもう一度見つめ直して、
1:02:23	ロジックとしてもう1回整理をし直したと。
1:02:26	いうところが火山灰調査の状況でございますで、一方で右側の分布と性状に関する調査の部分ですけれども、
1:02:36	今の資料の方にも年末、
1:02:39	ご説明した泥層の分布状況みたいなところをつけておりますが、次兵頭里それから県土上、
1:02:45	それからその延長線上にありますトレンチなんかも実施しておりますで、
1:02:51	B F 4 地点、
1:02:53	その周りに、それなりにですね泥層自主堆積物が、
1:02:58	広がりを持って分布しているということが輸送だったというところの見込みは、
1:03:02	立っております。ただそれがじゃあ何物なのかというところの分析を今、やっているという状態です。
1:03:09	今の進捗としてはそういった形になっております。
1:03:16	タニですはいありがとうございました。ていうことはですね特に調査結果の調査を今進めてきている方からいえることっていうのは、特に12月の会合のときからは変わってないってことで理解していいんですかね。
1:03:33	はい。私今、谷さんのおっしゃる通りでございます何かわかったから次のステップにというわけではなくてまず、課題として整理して、論理を整理したと、というような状態です。
1:03:45	はい、谷です。今の状況としてわかりました。
1:03:54	すいません。規制庁鈴木ですちょっと今田からタニのところ、
1:03:59	具体的に何か指標となるようなものが見つかったとかそれによって分、分析が進んでるとかっていう、その段階までにはないんですけど、ボーリングとかトレンチとか、
1:04:12	であれば、山坂湖これからボーリングを、今までB F 4 付近とかT T 値付近で一本のボーリング掘ってませんって、そういうことではないんですよね。
1:04:24	或いは
1:04:25	B F M整理南方方向でB F 4 値よりも、多少分厚い

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:31	これから泥層である泥層と同じものであるかどうかは突き詰めていくんだけど、泥層上と同じものであると期待ができるような、
1:04:40	分厚い提出堆積物が、
1:04:43	5日、
1:04:46	こっすらもこれから見つけるというかっていうことだとすると12月と全く同じそこまでも、12月と同じ状況っていうことではないですよ。
1:04:56	はい森本です。そういうことではなくてですね調査としても11月にご確認いただいた時点それからあと年末にご説明した時点から進めておりましてトレンチ、
1:05:07	それからボーリング等も地点をふやしております。
1:05:11	B F 4 地点で、11月月ご確認いただいた際に、こっからここを伐採して、
1:05:18	詳細に見ていきますというあたりもトレンチを開けてですね、泥層の
1:05:23	厚い泥層が出て、
1:05:25	きている。
1:05:26	まだちょっとその全貌までは把握しきれてないんですけども、ある程度は確認できてますので、
1:05:32	進捗としては、トレンチなりとボーリングは追加で出している藤泉田と、
1:05:39	いう状況ですがまずちょっと一旦方向性といいますか方針として、
1:05:44	示させていただいて、またちょっとその辺りの、
1:05:49	結果の方はですね、分析結果も出揃ってから、
1:05:53	状況をご説明させていただきたいなというふうに思っております。
1:05:59	わかりました。
1:06:01	あとはですね仲井化石だとか微化石だとかC N比だとかそういうところはこれから、
1:06:07	突き詰めていく何かちょっと一つだけ、一つ二つ出たからってそこで一喜一憂して、我々には出ましたみたいな話をしてもしょうがないので、そこはじゃあまとめからということで、
1:06:18	少なくともここで掘る来もしかしたら追加ボーリングが必要になったらそれやればいいんですけど、もともとこの辺り、このぐらいのところでボーリングを掘って連続性を確認してけばいいだろうとかそういう話は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:30	そういうのは一通りでできていて、あとは期待される結果というかですね、指標みたいなものが見つかるのかとかっていうそこはまだやってると。
1:06:40	何となくのイメージはつきました。
1:06:44	はい。
1:07:04	規制庁ニシキですけれども、
1:07:08	全体の流れみたいなどの確認等は、今さしていただきましたけれども、
1:07:15	ちょっと私も次進むような形になりますが、
1:07:20	その分、今回二つ
1:07:23	取りに行くような話で 4.6. 2.3 で
1:07:27	いわゆる括弧書きで堆積物調査ってことをされているか。
1:07:31	というめ形にも置き換えて説明されてたかと思うんですけども、
1:07:36	それでちょっと確認したいのが、6 ページ目のところを見、
1:07:41	お願いしたいんですけども。
1:07:44	先ほどの世良の話上で、終わったんでしたのはこの方になるんですけども、ちょっとここで確認したいのが、
1:07:53	ちょっと今日のご説明でも、一瞬よく良くわからなくなってきたところがあって、
1:07:58	まずその御社としては、海成段丘堆積物っていうものは、なあにを指しているのかがわからなくなっちゃったんですけども、
1:08:10	それって、
1:08:12	具体的には何を要は、次の
1:08:15	7 ページ目のところですか、での一番上の方で、泥層は云々かんぬんで、
1:08:22	海成段丘堆積物に考えられて書いてるんですけども、
1:08:27	私たちの方の認識としては、
1:08:31	何か、
1:08:33	御社のこのこれまで説明飲んで考えると、
1:08:37	古谷泥層も含めて、段丘構成層という認識ではあったんですけども、
1:08:43	岩級構成層というものと、この海成段丘堆積物というものっていうのは違うもの。
1:08:51	というような説明をされてるような気がしたんですけどもその辺ってどう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:55	要望ってどういう感じで、我々理解して聞けば良いですかってところで、
1:09:06	はい中部電力の森元です。今西さんおっしゃったように、
1:09:11	頭にですね前久我通ですね審査会合の資料で、古谷泥層を牧ノ原段丘堆積物の構成層ということで、
1:09:23	資料中にも記載していたかと思います。
1:09:26	ちょっと図譜くうの記載のっってですねそういった引用の仕方を、
1:09:32	していたんですけども、本日のこの資料でご説明したいところとしては、
1:09:40	6 ページの括弧書きで一般的な云々と書いてあるところの 1 ポツ目の部分なんですけど、
1:09:49	海成段丘堆積物、
1:09:52	そして、こちらの海成経た面を形成するような堆積物と、
1:09:57	いう位置付けで本日の資料は記載させていただいております。
1:10:04	ちょうど本てありますけれどもこういった
1:10:08	下手面を地形を作るような、堆積物というところでご説明をしております、
1:10:15	古谷泥層みたいな谷埋めの堆積物というのは
1:10:18	その中には入れずに、まず、この資料としては作っていると。
1:10:23	いうものでございます。
1:10:27	はい。規制庁ニシキです。説明ありがとうございます。
1:10:32	やはり、何かやっぱこと、このいわゆる線用語の定義部分といいますか、普通は岩級海成欄 9 堆積物といえば段丘構成層、
1:10:46	イメージというところだという認識で意味。
1:10:50	読むと思うので、何かその辺で何か、
1:10:53	御社がおっしゃりたいことと我々が、
1:10:57	の頭だから受け書くものか連れてきかねないなっていうのがあってちょっと読んでてそこは、
1:11:03	今日の話も聞いてよくわかんなくなったりするところがあったりして、
1:11:06	多分、一般的な別特に一般的な中で一般的にこうだったけというところもあったりして、我々、私の方もよくわかんなくなったりして、
1:11:16	結局、
1:11:17	何かその辺の定義というか、結局なんか、もう私も読み読んで7 ページ目の上から二つ目のポチのところ、御社海成だけがきつくて言いた

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いのは高海面期の旋回から海浜成堆積物のことを言いたいんだなとか思ったりは、
1:11:33	この辺まで読んでいってわかったところなんですけどもその辺なんか、
1:11:38	何かボタンの掛け違いとか起きそうなのでちょっとその辺はちょっと丁寧に説明をいただくか、きちんとどっかで定義するようなものを書いていただく、過去の
1:11:48	ちょっと言葉の使い方変えとかちょっとその辺ちょっと工夫いただければなど。
1:11:53	思っています。その上でちょっとここの6ページ目の一般的な説明の中です、
1:12:01	何か、
1:12:02	一般的な田井伊勢。
1:12:04	端的に堆積物が海成段丘堆積物であると言えれば標高を回線とみなすことができているんですけども、
1:12:12	これもうあれです結構ざっくりとこの高さですってというようなニュアンスなのかそれとも、
1:12:17	何かきっちりその汀線がここですってことまでその、
1:12:22	言うのかによって大分そのどこを取るものかって変わってくるじゃないですか。実際、海水準一番高いところの汀線どこですかってそれで基本は海食崖と海成。
1:12:33	平たん面の境界部分の傾斜変換点だと考察とかそういうふうにして定義して決めていったりすると思うんですけども、そういったものの、
1:12:42	関係だとか、その辺がちょっとよくわかんなくなったりしまったりしちゃうので、何かちょっと一般的にこうですって説明された時にその一般的にそこまでいえるんですかってのがいまいち分かんなかったところがあるので、
1:12:53	あくまでこれ御社が考えている中での位置付けじゃないのかなと思ったんですけどもその辺りって、これ一般的って考えてよろしいんですか。
1:13:16	はい。中部電力の森本です。
1:13:20	等ちょっとその訂正の標高を、窓、どこまでぎりぎりやる必要があるのかという観点でなんですけれども、やはりその
1:13:35	地層の年代ですので、
1:13:38	新規性基準で言われている。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:41	12 から 13 万年前、それからその前の高海面期と 10 万年の 8 万年前と いうその、
1:13:49	年だ飯野、
1:13:52	を示す上での制度としては、
1:13:55	下にポンチ絵書いておりますけれども、その海水準変動、
1:13:59	の
1:14:03	都丸流域の関係が出てくる標高差ですねそこその標高差が、
1:14:08	わかる精度であればいいと考えておましてその 1 メートル 2 メートル の範囲を、ぎりぎり。
1:14:14	やるような制度とは求められないのかなと。
1:14:17	10 メートルぐらいのオーダーで議論すれば、十分なのかなと思って、
1:14:23	考えておまして、
1:14:25	まずそれがちょっと一般的。
1:14:28	といえるのかというのはじゃ何に使う要素なのかという観点にもよるん ですけれども、
1:14:34	我々はその既新規制基準への適合性という意味では、
1:14:38	新規制基準の思想からするとですね、
1:14:42	郷委員の関心乏しいの回診とご縁の回診とこの三つを分けて差別化する という指導からすると、
1:14:49	一般的に、そういう意味では一般的にいいかなというふうに考えて今の ような記載にしておりますが、
1:14:56	いかがでしょうか。
1:15:01	規制庁ニシキです。
1:15:04	どういった、何て言いますか、主観点でっていうふうにかかれていて かっていうところだと思うんで、一般的ではないと先ほど、
1:15:14	申したような、どうなのか、ここはどうなのかちょっと細かいところま でも見考えちゃったりも網を持ったりもしかねないなというのもあるので、 御社としてこういうふうな、
1:15:27	観点で、段丘、
1:15:30	海成段丘堆積物も考えて説明をしますとかそういったものが示されてい ればこの資料上で示せばいいのかなという気もしますのでそのあたり は、
1:15:41	等どう説明されていくかということかと思しますので、その辺は

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:45	説明に沿った形であとは要望が何だ、専門用語的なものが出てきたときに、若井層の層理認識の違いがないような形で、
1:15:59	議論できるような形で示していただければいいのかなと、整理していただければいいのかなってことで、
1:16:05	ちょっとその、その言葉について
1:16:09	何かちょっと認識違いが多く発生しそうだったのでちょっと今確認させていただいた次第です。
1:16:16	以上です。
1:16:19	はい。森本です今西さんありがとうございました。今のご指摘ご最もでちょっと入りのところから、確かにボタンの掛け違いがあるといけないので、
1:16:29	用語の定義だとか、ここで言ってる制度ってどれぐらいのものなのかみたいなのも含めてですねちょっと表現は、
1:16:36	もう少し丁寧といいますか、
1:16:41	まだ誰が見てもわかりやすいようにという観点で改めさせていただきたいと思いますちょっと検討させていただきます。ありがとうございます。
1:17:05	谷です。えっとねその後私聞きたいのが7ページ、さっき野津、次のページの8ページの、
1:17:13	何か、
1:17:14	前のページより続くって書いてて、泥層会新規の堆積物であった場合の堆積年代っていうふうにこう書いてるんですけど。
1:17:22	これが何か、私ちょっと何を言いたいのかなとか思って、
1:17:29	確認したいんですけど、
1:17:32	二つ目の特に二つ目のポツで京松原社葬が一
1:17:38	ええと、
1:17:40	今日、今日松原砂層の方が高いから泥層下階新規の堆積物、古い時代の堆積物である。
1:17:49	といえる。
1:17:50	で、
1:17:51	これ、どこのことを言ってて、
1:17:55	これなんすかね京松原砂層が泥層を負ってるようなところをなんか、
1:18:01	見てるから、
1:18:03	だから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:04	礼装が、
1:18:06	回診期の堆積物、
1:18:10	伴
1:18:11	M I S 5 e より古いって言ってるのか、何かここの二つの
1:18:16	ポツの何を、
1:18:19	言わんとしてるのかをちょっと教えてもらっていいですか。
1:18:28	はい。中部電力の森本です。
1:18:32	まず F A X。
1:18:37	7 ページの内容からになりますが、下の
1:18:43	下から二つ目のポツですね江崎には、技術 6 から 5 e の
1:18:52	回診期の堆積物が、
1:18:56	て、一方で、
1:18:58	5 市から 5 c に向かう回診と 5 D、
1:19:04	後に向かう回診。
1:19:07	この二つの会新規の堆積物としては、知られていないと。
1:19:14	いう事実が、
1:19:16	あるという、なので、段丘堆積物の下には、もう相良層なり、大南津川古谷泥層があると。
1:19:25	いう事実と、
1:19:28	一番最後のポツというのは、京松原砂層 A とか笠名礫層、それから御前崎礫層という 5 E。
1:19:35	惜しい宝永の堆積物の分布標高、
1:19:39	いうことを、
1:19:41	御前崎地域のロープローカルの特徴として書いていると。
1:19:45	いうものです。で、まずペイジーのところで言いたいところが、ちょっとこの辺すごく社内でも表現の仕方を悩んだところではあるんですけども、
1:19:57	泥層の分布標高というところが、50 メートル、
1:20:01	に当たりますので、
1:20:04	泥層が開始。
1:20:07	新規の堆積物であったということがいえるというまずその前提条件があった上ではなるんですけども、
1:20:14	その上に乗っかってくる、高海面期の堆積物って何なのかと、いうことを、この二つのポツで行っていると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:23	いうものでございます。
1:20:25	選択として5A棒Cをいいと、高海面期が3回ありますので、それぞれについて可能性を見て行ってやっていると。
1:20:35	いうものです。まず5の、
1:20:37	御前崎礫層については、
1:20:40	明らかに50メートルよりも低いところで分布しておりますので、
1:20:45	泥層の上に、
1:20:47	上位層として、
1:20:52	御前崎礫層が乗っかってくることはなくて、
1:20:56	何となくちょっとわかったんだけど、
1:21:00	はい。
1:21:01	0層が下位新規の堆積物だったらもうM I S 5 e。
1:21:06	より古い時代の堆積物になるよっていうのを、
1:21:10	地形的な
1:21:12	観点から言っている。
1:21:14	耐震エコ、
1:21:18	甲斐新規の堆積物であれこれがだからそのあとなんどう繋がるのかが僕はよくわかんなかったんだけど、これはただ単に事実関係として、甲斐新規の堆積物、
1:21:30	であるということを示し競ったが、す、その表効果が、
1:21:39	12.5万年よりも古い時代の堆積物になるんですよって。
1:21:44	そうやって言ってる。
1:21:47	だけなんですかねこの礼装。
1:21:51	泥層ん分布標高約50メートルっていうのはこれはあれですねB F 4の標高のことを言ってる、
1:22:00	京松原砂層がそれよりも高い。
1:22:05	何となく、こういう考えになるんだよって言って言ってる。
1:22:11	てことですね。
1:22:12	すいません。何となくわかりました。
1:22:17	はいモリモトです。今谷さんおっしゃっていただいた通りでざっくり、ざっくりです端的に言いますと、
1:22:24	赤い新規の堆積物だということがいえるだけで、50メートルにある泥層というのは、
1:22:30	年代が12.5万年よりも古いんだよというところを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:34	当間江崎希衣野地地層の、
1:22:37	状況であったり、地形から説明しているというところが、
1:22:43	この
1:22:46	8 ページまでの内容を、
1:22:49	になります。6 ページに、
1:22:51	青字で、
1:22:53	書いている部分。
1:22:56	また以下に示す理由によりの以下に示す理由を書いていると。
1:23:03	いう位置付けです。
1:23:09	規制庁カイダですけど私もちょっと今のところの話で今、
1:23:14	説明された内容の言わんとすることは何かわかってきたんですけども、
1:23:20	例えばその 8 ページの、
1:23:25	何ポツ目かな。
1:23:29	1 ポツ目かな、1 ポツ目のところを見ても、
1:23:35	私もちょっとわかんなかったですね例えば
1:23:39	笠名礫層も、
1:23:43	泥層の上位にはないというような、
1:23:47	書き方なんですけど前のページ見ると、これ何度も出てきてる絵なんですけど、
1:23:55	笠名礫層の下っていうのに、
1:23:58	古谷泥層んがあって、
1:24:01	上位下位かっていう点でいくと、
1:24:04	笠名礫層っていうのの上位に、
1:24:09	下位には泥層があると。で、
1:24:13	御前崎はもうこの絵とかには書いてないんですけど、
1:24:16	上位下位かっていうと
1:24:19	多分層状的には買いになるわけで、
1:24:23	ちょっとその辺、何か
1:24:25	さっきの 8 ページの文章だと、
1:24:28	何かおっしゃってたようなところが伝わってこないというかわからないので、
1:24:34	やっぱり書き方をちょっとな、悩んだっていうふうに仰ってましたけど、
1:24:40	ちょっとまたそこ、その辺またちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:43	何かうまく工夫していただけるとわかるようになると思うんですけど。
1:24:49	どうですかね。
1:24:58	はい。中部電力の森本です。今のカイダさんのお話は表、
1:25:05	標高で見た時の上位下位という表現。
1:25:09	もあるし、
1:25:11	そ層状で見たときの上位下位みたいなのところもあるんで我々としては添層状で見たときの状態という。
1:25:18	スズキで
1:25:20	ご説明はしていったんですけど少しその辺の読みにくさみたいなのところ。
1:25:31	はい。規制庁カイダです。利率関係として今まで
1:25:36	文献とかから柱状図ミウラされてて、笠名礫層、7ページとかにあるんですけど、
1:25:43	笠名礫層だって、あの会議に泥層っていうのがあってその上位に笠名層層があるというところは、事実としてあるんで、
1:25:53	上位には笠名層の会には、泥層はないっていうような書き方だと、ちょっと誤解を招くというそういったところなんですけれども。
1:26:09	電中研、笹木です。7ページからの続きからちょっと読んでいただきたかったんですが2ページにわたってちょっとわかりにくい表現になっておりますので、ここはちょっと表現改めさせていただきます。
1:26:26	カイダで、ちょっとその辺のちょっとそちらのお考えがわかるような形でまた
1:26:34	適宜、更新していただきたいと思います。
1:26:42	すいません規制庁の名倉ですけれども。
1:26:48	前回12月の23日の会合資料と、今回の資料をちょっと見比べたときに、
1:26:56	少し何て言うのかな今回の追加調査の骨となる部分が少し若干変わっているように、
1:27:04	感じたんですが、
1:27:06	12月23日の資料では、スケジュール表にも表れている通り、
1:27:12	括弧つきの泥層とBF案地点の古谷でその詳細な分布状況と、
1:27:18	括弧つきの泥層等笠名礫層相当層の層位関係。
1:27:22	これを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:24	メインの柱に据えて、どちらかという泥層そのものの文献調査を含めた、
1:27:31	年齢、年代感を出すための物的証拠を得る、調査っていうのは補足的な調査と位置付けられていたんですが、
1:27:39	それがですね今回の例えば3ページとかで見ると、
1:27:47	層位関係に関するところとして4.6. 2.4 というところは依然としてあるんですけども、
1:27:54	笠名礫層相当層という言い方もなくなって、随分頓挫うんしてると。それに対して、4.6. 2.2 というものが、4.6. 2.3。
1:28:07	もう、大開するかのようなまたはいずれかという形で、火山灰の調査が頭に出てきたということと、あと、4.6. 2.3 章のところの、
1:28:19	分布だけではなくて性状について、ここで年代感を特に出そうという、
1:28:25	何かそういうふうなもくろみが急に持ち上がってきてると、強く、
1:28:30	こういうふうな状況っていうのは、T11 のトレンチの調査の状況とかそういうものも含めて変わってきている。
1:28:39	そういうふうにはちょっと見ているんですが、
1:28:42	要はT11 のトレンチで、
1:28:45	泥層とする括弧つきの泥層と、
1:28:49	層相が類似した堆積物っていうものに関しての年代感が、
1:28:54	結局出せないのだから、こういうふうな、分布と性状のところ、堆積物調査で年代感を出そうとしている。
1:29:04	何かここら辺は、調査の結果の経過というか、そういうものが方針に影響してきているっていうふうにとらえられるんですけどもそういう理解でよろしいでしょうか。
1:29:37	中部電力の森本です。
1:29:41	ですねまずTPGで前回は説明しております今回の資料だと22ページになります。
1:29:48	こちらに関してはですねまだ分析の状況が、分析が何も
1:29:55	定量的な結果として出てきておりませんので何も前回から進捗がないと。
1:30:01	というのが実情でございます。
1:30:04	そういった結果なぜPT一井の結果を踏まえて、何かこう、
1:30:09	説明の時空だとか調査の軸足をずらしたというわけではなくてですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:14	前回年末にご説明した時にやはり基準適合性に関してちゃんと論理構成から整理して、説明するようにと。
1:30:23	そのご指摘いただいた中で、
1:30:26	対応に当たって、論理をもう一度整理したと12万円から13万より古いというためには何と何が必要条件でプリント何が
1:30:38	担当条件は条件なのかという辺りを整理してですね。
1:30:41	再度ご説明させていただいてるのが本日の資料というな形になっております。前はですねどちらかというところ幅広に、
1:30:49	与えられた課題に対してあれもやりますこれもやります。で、その中で、これとこれを
1:30:58	これとこれが分かれば、
1:31:00	ブレークスルーになる可能性があるので重点的にやっていますという内容で、
1:31:04	進捗状況をご説明させていただいてるんですけども、今回ですね
1:31:10	評価の右となるのはどこだと、それに対して何が足りてないんだという観点で資料をまとめておりますので、
1:31:17	ちょっとその辺のですね、
1:31:19	整理性リーが前回十分できてなかったと。
1:31:24	いうことになって、それが差分になって出ているというような状況でございます。
1:31:32	規制庁の名倉です。ちょっと印象としては4.6. 2.2 っていうのは、
1:31:38	チャレンジかもしれないけれども、具体的な部署を得ようとしている。
1:31:44	4.6. 2.3 っていうのは、
1:31:47	むしろ、これって逆行してるような私イメージがあって、物証を得るといよりも、何て言うのかナマコこういう項目等も必要かもしれないんだけども、
1:31:58	何て言うのかな、
1:32:01	部署がなくても論理的に何か説明を強化できないかっていうことを検討してるのかもしれないんだけどもちょっと何か、
1:32:11	具体的な部署を元に主張をするというような内容のようにもう見えなくて今までの説明をもう1回繰り返して、ぶちまけてきたっていうふうにちょっと、
1:32:22	何となくそんな感じの印象なんですけど、
1:32:25	ちょっとここら辺が少し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:28	実は 4.6. 2.3 の中の文章として、
1:32:33	いろいろと何回か、何くこれ重ねを重ね、
1:32:40	書きをして、いろいろと確認、あれを確認するこれを確認するって、何段階にも書いてるんだけど、これがですね前回会合で指摘した。
1:32:51	確認って一体どういうふうな、何をもとに各何をどういうふうの確認するのかっていうのが明確になっていないのが非常に多くて、
1:33:01	ちょっと何を、
1:33:03	どういうふうの確認をすれば、どういう判断、基準でどう判断するのかっていうことも含めて書いてないので、
1:33:11	何かすごく曖昧な感じがします。
1:33:20	海成堆積物が確認された場合とかね。
1:33:28	海成堆積物の性状を示すという特徴。
1:33:31	両方を泥層が持つことを確認する。
1:33:35	こちら辺がちょっと、
1:33:36	後ろの方に何か細かい注記も含めて、見に行けば何か書いてあるような感じもしなくでもないんだけど、
1:33:44	どういう検討かの中で確認をどう行うのかっていうところが、
1:33:51	明確に行なうなんていうのかな、
1:33:55	すぐ近くで読み取れなくて、そういう意味で何をどう確認することによって最終的なこの項目の判断をするのかというところがちょっと、
1:34:05	わかりにくいなというふうに思いました。そういう意味で前回、
1:34:11	論理構成をちゃんと重みづけも含めて整理をしてくださいということ
1:34:17	と、
1:34:17	カトウ、実際の批評か検討する際の確認の内容、方法基準とかそういうものもちゃんと具体的に明らかにしてくださいということに対して、
1:34:30	ちょっと、何ていうかな、すぐわかるような資料になっていないと。
1:34:35	いうふうにちょっと考えられますので、
1:34:38	少し説明性も含めて改善をしていただきたいと思います。
1:34:45	いかがでしょうか。
1:34:49	はい。中部電力の森本です。今の名倉さんのご指摘承知いたしました。ちょっと資料としてですねそもそももう何がわかればいいんだみたいなところから、
1:35:00	段階を追ってですね、スライドを挙げて説明している中で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:07	その上流の方で一番下流で何を確認するんだっていうところが読みにくいのかなと思って、
1:35:14	お話を聞いておりました。
1:35:16	細かい点といいますか具体的にどういったところを確認している、していかっていうところは11ページに我々としてはすべてを書いております、
1:35:25	先ほどの、エーッております。
1:35:28	先ほどの堆積物の話についてでもう記したのはごめんなさい。下から2番目の箱。
1:35:36	ですね最後の段落の部分になりますけれども、
1:35:40	兵頭さですとか剣道場で新たに確認したリース堆積物、
1:35:45	の層相詳細に確認分析することで、海成制度の化石だとか、
1:35:50	科学的にですね成分で、施設費、
1:35:54	お示しすると、C S等から明らかに、
1:35:59	海成と判断できる性状、これが確認できることを1個の基準にして、
1:36:03	判断をしていきたいと考えております。
1:36:07	もう少しこの辺りの、こういった海成、明らかに海成と判断できる性状が何なのかっていうところをもう少し書き下したいと思いますし、先ほどの、
1:36:17	上流下からの紐づけといいますか流れみたいなところをもう少しを目指すようにH u b e rさせていただきたいと。
1:36:24	思います。
1:36:26	以上です。
1:36:42	規制庁ニシキです。
1:36:44	ちょっと今海成体積
1:36:48	2日とか示すこともちょっとってお話ありましたけども、ちょっと今回この全体を見てた中で、
1:36:55	軽度、
1:36:56	なので、甲斐新規の堆積物であればっていうような言葉が出てくるかと思うんですけども、この会新規の堆積物っていうものはどのように確認していくのかっていうのが、
1:37:10	あんまりそこに書かれてない気がするんですけどもそれでどういった、
1:37:15	高野で示していこうというお考えなのか、教えていただけますか。
1:37:29	はい。森元です。6ページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:35	下の発行楽器の次の部分。
1:37:39	2、
1:37:41	なりますが、
1:37:43	まずこのおうちの部分で書いているのは、まず泥層というのは甲斐新規の堆積物であれば、
1:37:52	12.5 万年前の高海面期の海成段丘堆積物の古いということで年代が値段基準を満たすということがいえると考えております。なので、
1:38:03	その回診に伴う堆積物をあわせ持つ。
1:38:08	広域に分布するということと、海成堆積物の性状、
1:38:13	を示すという両特徴の両方を泥層が持つことを今回確認すると。
1:38:20	いう行為を、大枠としてやっていくと。
1:38:23	いうところをここで繊維方針として示しております。
1:38:27	分布だとか性状を具体的にどういう手法で確認してく何していくんだという話を 10 ページ 11 ページの辺りに、もう少し書き下して文章で示している。
1:38:39	いう構成にしております。
1:38:45	規制庁ニシキです。
1:38:47	今ちょっとよくわか私若い新規の堆積物を持って話したんですけどもそれって、
1:38:56	何か回診期の堆積物を示しているわけじゃないような気もしたんですけども回新規の。
1:39:03	前、私がいなかった加古甲斐審議の堆積物と書かれているのは、甲斐新北井関大和という認識をし、私はしてる、してて、お聞きしたところなんですけれどもこれって、
1:39:14	まああの、
1:39:15	あれあれじゃないですか、いわゆる加瀬先生の礫層から、何だ、荒廃しそれからずっと海野千野が変わっていくのも含めて、回診期の堆積物ですよ。
1:39:28	そういったものをどうやって確認するんですかっていうようなことを聞きたかったところなんですけども今のご説明だと何かそれさらにそれが海成堆積物の性状示し両方を示さないといけないって、
1:39:40	別に変え新規の堆積物って、海成堆積物は必要ないってというのは確か。
1:39:44	御社前。
1:39:46	これまでの会合の説明の中でもしてた、一番古谷泥層の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:51	いわゆる基底礫とか言ってたあたりはもう上、
1:39:54	下線んそうでしたっけ、ああいったものだとかいうって話もあったりしてる中で何かちょっと、
1:40:00	何か今、御説明すぐ着手しちゃったんですけどその辺ちょっともう一度整理してご説明いただけますか。
1:40:15	電中研の笹木です。衛藤。
1:40:19	甲斐新規程度具体的に7ページの
1:40:25	2ポツ目のところで、
1:40:31	terminationのことをぐっと指してます。ただ、ラミネーションっていう専門用語を使ってしまうと、ちょっとわかりにくいので、今甲斐新規っていう言葉で、
1:40:41	置き換えてる部分もあります。
1:40:44	具体的にはそういったMIS6からMIS5eにかけての、
1:40:50	termination IIと呼ばれる時期の堆積物、
1:40:54	要するに、
1:40:56	このグローバルな海水準変動に対応したような堆積物であることを言わなきゃいけない。まずは、
1:41:04	この回診キーって言っても、ただ単に、
1:41:09	13万年前から12.5万年前までの間は、陸域においても海においても、そのローカルな地形も含めていろんな堆積物がたまっているわけで、
1:41:19	ただ、
1:41:21	時間を、その期間を言っているだけではなくて、そういったその、
1:41:26	グローバルなものとして書い新規という言葉を使っています。なので、比較的阿蘇、相対的にそういったローカルな堆積物とは違って、
1:41:38	御前崎地域に広く分布していること、かつ、海の影響を受けた堆積物であることを言わなきゃいけないので、
1:41:47	そういった縛り。
1:41:49	という意味で今甲斐新規の堆積物という言葉を使っています。
1:41:53	以上です。
1:42:00	規制庁の一色です。おっしゃってる内容は、分、
1:42:06	気がするんですけども。はい。ここも、何て言いますかね先ほども言ったようなその用語的にどう受けとめられてしまうかというところの観点もあるので、
1:42:18	そう、今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:21	確かにこの期間、M I S 6 からM I S 5 e にかけてどう呼ぶのかとかそう いったところは結構共通なんだ、お互い共通認識を持って同じものをイ メージする言葉としてそれが回新規の堆積物と言っていいのかというの もありますけどもそれは、
1:42:38	逆に言えばそこをきちんと定義していただかないと我々の方もなかなか 伝わってこなかったりするんで、先ほど要望のところも含めてなんです けどもそのあたり、定義なり説明なりをしていただいて、
1:42:50	てた方がちょっとこの辺の認識違いが発生しないのかなっていうふうに 期感じたところですよ以上です。
1:43:01	はい中部電力の森本です。やはりちょっと上流側の整理ということで非 常に大事なところかと思しますので、そのあたりは、我々の考えがちょ っと誤解なく伝わるように、
1:43:13	整理させていただきたいと。
1:43:16	思います。ちょっと泥層ニシキさんの方から
1:43:20	古谷泥層って
1:43:22	改まって、その間新規の堆積物っていうタニ上から始まってみたいなど ころのお話も、
1:43:28	あったんですけども、
1:43:30	まず、我々としては回診キーの堆積物、
1:43:36	であれば、
1:43:39	全部が全部その海に使っているっていうことを言ったわけではなくて、 その広域に広がっていて、なおかつその海成のわかりやすい性状が確認 できていればそれはもう誰がどう見ても
1:43:53	甲斐新規の堆積物だと、か、かなり確度高くいえるだろうと。
1:44:00	ということで、それを指標として探しに行っていると。
1:44:05	そういう流れになりますのでちょっとその辺りもですね
1:44:09	必要条件とか十分条件の考え方が梅木安井様に少し文章を報告させてい ただきたいと思います。
1:44:17	以上です。
1:44:39	すいませんちょっと話のところ変わるんですけど。
1:44:43	一応今回もう
1:44:45	海洋関係とれてるのかなあ。
1:44:48	15 ページからのところでP11 に示した追加調査とのその対応関係を示 しますとかっていって16 ページからあるんですけど、これって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:58	前回の、
1:44:59	会合資料で説明していて、
1:45:02	これがようわからんと言われたものをそのままついでるんですよね。この中で見ていくと、高古地磁気分析とか何かざくろ石とかあとこう関戸かな。
1:45:13	これも引き続き、今回の説明の中のハシ中では端折られてるだけで引き続きやってるんですか。
1:45:25	はい。新本です。分析としては前回、今回もですね 15 ページ以降で示している、
1:45:34	検討っていうのは進めておりますんでやっていきますやっぱり課題として、
1:45:40	認識している中で、やっぱりそれぞれの対応ということで取り組んでおりますが、
1:45:48	前半部分も次の週の前半部分でご説明したかったのは基準適合を示すためじゃ何がわかればいいんだっていうところの事故を、
1:45:56	一通り流れで、
1:45:58	説明させていただきました。
1:46:01	幅広に取り組んでるということで、前回説明した、
1:46:06	ものの、
1:46:07	補足的な検討みたいなのが、前半ところから漏れている部分もあるので、ちょっと、
1:46:15	15 ページ以降ですね前回会合で説明した対応関係。
1:46:19	その辺を、
1:46:21	そのまま残した形で資料として作っていくと、うん。
1:46:25	ものでございます。
1:46:27	はい、ちょっと何か前半のところところそれぞれが、
1:46:31	どこに置き、どこに繋がってくる分来るようになったのかな。わからなくなったので、一応やってるということをやってるわけですね一通り。
1:46:39	何かこれはやっぱりやってもしょうがないなとかっていう、過剰があったわけではないと。
1:46:47	はい。
1:46:49	どこで示させるかなあ。
1:46:56	わかりました。
1:47:08	谷です。ちょっと私 10 ページの内容を確認したいんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:12	泥層の分布についての検討と二つ目の四角ですね。
1:47:16	何か文献調査では、
1:47:20	泥層と共通した特徴が何かを整理した上でっていうふうに、
1:47:25	書いてるんですけども、やることはわかるんですけどこれも、
1:47:31	泥層と共通した特徴とかっていうのも整理できていますか。できて、まだ整理中ということですか。
1:47:45	はい中部電力の森本です。文献に関してはですね一通り洗い出しは終わってるんですけども、まだ最終的に、
1:47:55	共通した特徴が何かってところを最後、ちょっと社内でも議論してるような状況でございます。
1:48:03	だから、今のデータとかも取り込まないと説明できないってことなんすかこれまでのデータとかでも、
1:48:09	まだ十分偽整理はできていないってことですか。
1:48:14	はい。ですね今後出てくるデータも含めてですねやはり総合的に見た方がいいかなと思ってましてその結果とあわせて整理していきたいと考えております。
1:48:25	わかりました。いや何かわかってることがあるんだったら示してもらった方が何か、我々も方針の話ができるのかなと思ったんですけどもそんなこともないってことですね。
1:48:37	で、三つ目、ボーリングとボーリングトレンチ調査で、やってや、やることとして、提出堆積物の層相。
1:48:47	構成粒子の構成粒子の流と花粉の含有量。
1:48:53	礼装と、
1:48:58	これってですね多分前の2個前の会合の議論に戻ってって、これはだから対比できるような根拠になり得るのかとかいう、
1:49:09	花Cの中で、比べるんだったら
1:49:14	対比でき得るもので比べてねっていうような話があったと思うんですけど、それで、
1:49:20	これはその対比でき得る根拠になるっていうふうに考えて、
1:49:26	この項目になってるんですか。
1:49:37	はい中部電力の森本です。
1:49:40	やはりトレンチいでだとかボーリングを、今BF4地点の近くでやってるんですけどもその辺のデータとBF4地点の点のデータをどっかに合わせるかと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:53	いう問題かと思えますで、また弾いえっと、出ないでないの対比は、
1:49:59	対比にならないという話もありましたけれども、
1:50:03	あれだけ野瀬ローカルの国道からの範囲で、
1:50:08	例えば花粉が出ないであったりとか積も出ない。
1:50:11	それから層相も、
1:50:13	よく似ているというところが一つ、それは一つのポイントになるんじゃないかなと考えておりました、
1:50:18	その辺りローカルな対比等をもう少し、
1:50:22	1キロ2キロの距離を持つ対比っていうのは、差別化をある程度していきたいと考えております。
1:50:29	それから
1:50:31	その下に書い対比にあたっては当然
1:50:35	その検討伝統、
1:50:36	それだけではなくてですねその下に書いてある。
1:50:39	詳細の地形の計測の結果も使いまして断面図、書いてあってですね。
1:50:45	堆積環境を考えたときに、と矛盾ないと、同層準として矛盾ないということを示していく予定でおります。
1:51:01	はい。
1:51:03	今のところの考えは確認できましたけどここを対比できるかできないかっていうのが結構大事なところで、前回の会合で示しているようなものだったら、
1:51:14	何か課題があるよと、難しいというふうに考えてますので、その辺の説明をしっかり、いや、同じような項目を並べる。
1:51:25	並べるにしても着目点が違うのかとかどうなのとか、その辺もですねわかるように、
1:51:32	開会後で説明せいというつもりはないんですけどどうしてこれで説明できるんかっていうのは考えは、しっかり考えていただいたらと思います。
1:51:47	野田です。3ページの下図、これ他にも使われているんで、念のため確認なんですけど、
1:51:55	4.、一番左側の4.6. 2. 一章、低層の堆積年代の評価方針となっていて、これ当然方針なんで右側に書かれてる調査の上位に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:07	当たるものなんで、決まってるものだと思うんですけど、ちょっと具体的に書かれていないんで、全体方針との違いも踏まえてちょっとここ、ご説明いただいていいですか。
1:52:32	はい中部電力の堀本です。
1:52:38	今おっしゃったのは3ページに書かれ、図に書かれてる評価方針と、
1:52:49	その上に書かれている全体方針っていうところの違いかと思います。
1:52:56	今回この図の方で示させていただいた、
1:53:02	資料の構成といいますか、
1:53:08	それぞれの根拠との関係みたいなところは最終的にこういった形でご説明させていただきたいと。
1:53:16	いうニシノの構成をお示しさせていただきました。で、
1:53:20	概ねですね、6、4.6. 2.1でご説明させていただきたい内容としては、
1:53:27	今、3ページの上になら書かれております。
1:53:30	堆積年代評価は、こういった二本立てでやっていくんだと。
1:53:35	いう、この箱書きの内容それから、それをもう少しブレイクダウンした、
1:53:42	6ページから、
1:53:44	8ページ。
1:53:47	の内容について
1:53:50	この4.6. 2.1の中で、最終的なコメント回答の資料として、
1:53:55	ご説明させていただきたいと考えております。
1:53:58	なのでちょっと今、最終的な仕上がりというイメージで、
1:54:03	この3ページの図、記載させていただきましたが、最終的には、
1:54:08	今書いている3ページの箱書きと、6ページから8ページの内容、
1:54:13	を軸として、それぞれ米、
1:54:16	前回9月の
1:54:18	審査会合で、
1:54:23	文献も含めてですね梅崎の地層の成り立ちを説明することという、
1:54:29	ご指摘いただいておりますので、その辺で厚みを、
1:54:32	を持たせた上でですね、
1:54:35	資料として作っていきたいと考えております。
1:54:40	野田です。ご説明ありがとうございました。他方で、方針というのは、繰り返しになるんですけど4.6. 2. 二章、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:49	以降の、上位にあたる部分なんで、こういったところは、通常具体的にその評価方針を書かれるべきところじゃないかなと思って、思っていたところ、ここは、
1:55:00	文献調査の結果から説明というアプローチが書かれていたんで、少し事実確認をさせていただきました。以上です。
1:55:19	規制庁の名倉です。
1:55:22	今野田の方から指摘された内容を、
1:55:26	踏まえてちょっと違和感を感じたのは4.6. 2. 一章ってこれが、
1:55:33	堆積年代の評価方針として全体を統括するものであるとすると、
1:55:39	文献調査等って書いてある藤の方がかなり重みづけがあるのかなっていう印象と。
1:55:45	阿藤すいません5ページの1上の四角書きに書いてあることが、
1:55:51	全体方針だとすると前回から方針変わってるような感じがするんですが、
1:55:57	前は先ほどもお話した通り求める物証として、
1:56:02	泥層とBF案地点の古谷泥層の詳細な分布状況と、泥層と笠名礫層相当数の層位関係。
1:56:11	これを大きな柱にして、
1:56:15	他のに対して今回は4.6. 2.2と4.6. 2.3。
1:56:20	によってその堆積年代について、評価していくと。
1:56:26	その中で4.6. 2.4と6.14. 6.2. 5に関しては、
1:56:33	これはあくまでも、
1:56:37	裏付けであると。
1:56:39	何かここら辺の方針がもう変わってるような、
1:56:44	印象を受けるんですが、というか変わってると思うんですが、ここら辺をちゃんと説明した方がいいと思うんですがいかがでしょうか。
1:57:24	はい。中部電力の森本です。
1:57:27	前回分布それから、そういう関係ですね重点的にやっている調査ということで、いろんな調査を幅広く説明させていただく中で今重点的にやっているので何かと。
1:57:42	黄色ん中になる可能性があるのではというのは、ただ、ご説明させていただいておりますので、ちょっと繰り返しにはなってしまいうんですけど、
1:57:51	礼装が古いというにあたって、
1:57:55	何と何が必要なのかっていう、まず一旦その後、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:00	追加調査を置いていてですね、どういうことが言えれば、
1:58:05	泥層が古いんだ。
1:58:07	といえるんだというのを整理したのが5ページ。
1:58:10	この内容で、何と何が言えればという整理ができれば、当然それを示していくことになるので、それに付随する調査は何かということで、
1:58:19	その後段に示させていただいているというのが、今回の資料です。
1:58:24	そういった位置付けで整理をすることによって
1:58:30	イトウ泥層が古いというにあたっての位置付けみたいところが、
1:58:36	変わったといえば変わっているので、その点については、そういうふう
1:58:42	に もう一度整理させていただいてですね。
1:58:46	でやること自体は特に変わってなくてそれがロジック上どういうふう
1:58:53	に聞いてくるのか。 いうところを整理、説明させていただくという形で改めさせていただき
1:59:02	たいと思います。 規制庁の名倉です。
1:59:04	やっぱり前回の資料で、
1:59:07	逆に図、図化されていて、わかりやすいとは別に決して言えないんです
1:59:15	が、 ただ強調されていて非常に頭に刷り込まれているのは前回の資料の6ペ
1:59:22	ージの フローですね。
1:59:25	ここのところで今回事業者として重点化すべき。
1:59:30	検討内容というのが赤字で書かれていて、
1:59:34	ここら辺が結構刷り込みとして大きいのと、あと最後の方のページ
1:59:40	スケジュールですかね。
1:59:43	スケジュールが説明されているページがあって、これが、
1:59:47	14ページ。
1:59:49	この項目はおそらく今回スケジュール表14ページの中で、ほぼ
1:59:57	おそらくカバーできてると思うんですが、こういったフローで、全体を
2:00:07	あらわした場合に、その差分というかどうしてこういうふうに、 見せ方が変え変わったということかもしれないんですが、それが変わ
	ったということをちゃんと説明いただかないと、ちょっと面食らってしまうなど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:18	前回の資料との対比で見たときに、何でこうなったのかって、手繰ってしまっただけですね。
2:00:25	これ何か見つかった見つからないから、方針変わったのかな。
2:00:30	とかそういうふうにスケジュールも変わってるなって。
2:00:33	もしくはスケジュールから何か除外されてる項目ってあるんじゃないかとか。
2:00:38	そういうふうな見方をしてもらってしまったので、ちょっとそういうふうに疑い部会私が人間なのかもしれないけれども、
2:00:46	ちょっとここら辺の差分をしっかりと説明していただかないと会合も混乱しますので、今回どういうことを考えてどういうふうに見せ方を変えたというか、
2:00:58	説明するようにしたかという説明の方針も含めて、ちょっと説明していただいた方がいいかなと思いました。いかがでしょうか。
2:01:09	はい中部電力の森本です今名倉さんがおっしゃった観点
2:01:15	承知いたします大事な観点かと思っておりますので、
2:01:19	少し差分ですとかどういった考え方で、もともと作っていて、
2:01:25	前回会合を踏まえてどう、どう見直したのかっていう辺りの考え方をですね整理させていただきたいと。
2:01:32	思います。
2:01:33	ただ繰り返しなんですけど、決してし何か隠してるとか、何か除外だとかそういうわけではなくてですね。
2:01:40	趣旨とする。
2:01:42	思いとしては、本日の資料でも、27 ページに、
2:01:47	9月の会合でいただいたコメントといいますか、認識した課題というので、
2:01:54	書いているんですけども(2)の一番最後のところですね、
2:02:00	論理構成が必要に応じて再考を明確にして、最高はもうあれなんですけど明確にして、
2:02:05	各データに科学的データに基づく確実な評価結果を示すことと、本指摘への対応方針については審査会合において説明することとされている中で、
2:02:16	前年末の会合ではこの点が十分説明できてなかったという認識でいて、再整理した結果が本日のものになりますんで、
2:02:26	ちょっとその辺りも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:30	何か誤解を与えないようにといたしますかもう少し丁寧に、
2:02:34	説明させていただきたいと思います。ありがとうございます。
2:02:48	規制庁佐口ですけど。
2:02:50	ちょっと私も3ページの、
2:02:52	このまたはいずれかっていうのにすごく引っかかっていて、
2:02:59	多分、御社は両方、
2:03:03	やるのかもしれないですし、もう結局最終的には片方になるのかもしれないんですけど、
2:03:09	あくまでも今回のこの火山灰調査って、御社がある意味チャレンジされている部分であって、
2:03:20	いや、何が言いたいかっていうとですね。
2:03:22	何じゃあ今まで、
2:03:25	ないですよって言ったら、急に復活したのかっていうと、6ページに書いてありますよね、これまでの泥層の火山灰分析において日本列島に分布するとか、
2:03:35	云々とかって、要はこの火山ガラスに着目してたんで、まあ見つかりませんでしたと。
2:03:41	ただ今回はちょっと、角閃石に着目するんでっていう話なんですけど、
2:03:49	そうすると、
2:03:51	これまで、
2:03:53	火山灰っていうかT e p h r aが一ないって言ってた話ってどうなるのかなと思ってですね。
2:03:59	当然9月の会合のときに、
2:04:02	最初の時では私と天野さんで、なんか今考えるとじゃあれっていらぬ議論じゃないですけどやりとりだったのかなと思ってて。
2:04:11	文献も含めて、古谷泥層っていうのは、そういった火山灰とかも含まれてないですよみたいなそういう確認は当然お互い、
2:04:19	共通認識のもとでやっていくって話だったと思うんですけど。
2:04:23	まずそのあたりがどうなのかなっていうのと、当然ながら、
2:04:28	こういった火山灰分析と火山灰T e p h r aの話になってくると、もう目に見えて明らかにわかるんじゃないかと思っているんですがそれはごめんなさい私がかんないだけかもしれないんですけど、
2:04:40	そういうものって、当然ながらあらかじめわかる話かなと思ったんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:44	で、突然これが出てきて、なんでじゃあ今までそういうのって、
2:04:52	一切、
2:04:53	なかったのかなというのと、
2:04:55	ちょっとやっぱりこれ見通し。
2:04:57	今どんな感じかっていうのを少し教えていただきたいと思います。
2:05:03	というのはあのさ、最初の方ですね認識もちょっと確認してましたけど、
2:05:08	いずれにしてもこれ純層か。
2:05:11	二次堆積物かっていう話とか、
2:05:14	あと多分これってこれも結局対比の話なので、
2:05:18	四国沖の何とかってありましたけど、
2:05:22	絶対にこれだてこれにしか対比できません。
2:05:25	ていう話になればいいんですけど、そうじゃなくて、いや実はこれとかこれの可能性が有るぐらいで終わってて、場合によっては、
2:05:36	年代感が全然違うようなもの。
2:05:39	とも実はあれこっちにもう何か対比できそうだとかいう話になると、結局最後使えないんじゃないかって話にも、
2:05:47	なるのかなと思ってその辺りを踏まえてですね今後、
2:05:51	分析とか検討をしていただいて、
2:05:54	しかもですよ。
2:05:56	これ、
2:05:57	どっちかと言いつつも、結局この3ページの、今までご説明のあった、
2:06:03	また、おそらく、この泥層っていうのが古谷泥層に相当するもんだらうと。
2:06:10	いうご説明に対してですよ。
2:06:13	今、古谷泥層のに相当するような、もし年代値と違うものが違うようなものに対比された場合ですよ。例えば、
2:06:24	12 から 13 万年とかだったらいいかもしれないですけど、例えば 15 万年とか 20 万年とか、
2:06:33	出た場合に、
2:06:34	出た場合にとか 20 万年の火山灰とかに対比されるという形で出たときにですね。
2:06:41	それは確かにその中に 3 万年より古いからいいかもしれないんですけど、これまで説明してきた右側の方ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:49	この古谷泥層ってじゃあ 20 万年の地層なのかどうかという、その整合性も、何かおかしくなるような気がしてきてですね。そうすると、やっぱりこの火山灰っていうのは、
2:07:00	フレア泥層に相当するような年代のものと対比できるのかできないのかっていう話がどうしてもあってですね。
2:07:10	いや、基準適用上、それは別にこれが 20 万年とか 30 万年に対比いいされる。
2:07:16	あれば別にいいっていう、もちろんそういう話もそうですけど、だからといって、これまでの、
2:07:22	御社のご説明との整合性、その辺りもちゃんととれるのかどうかっていうのは、きちんと
2:07:29	最後ですね、確認をしていただきたいと思います。
2:07:33	で、結局、今の現時点での見通しなんですけど、どんな感じなのかっていうのをちょっと、
2:07:40	教えてください。
2:07:45	笹木です。
2:07:46	この資料作るにあたってっていいですかこの 3 ページを作るにあたってサグチさんの、
2:07:52	今、ご懸念みたいのもすべて頭に置いた上で作成しております、
2:08:01	具体的にはその断層の活動性評価っていうのは、
2:08:05	何て言いますかね火山灰調査で、
2:08:08	肉眼でわかるような広域テフラ、十二、三万年前よりも古いとされる、されている文献にされているものがバシッと入っていればそれで、
2:08:18	終わり。
2:08:19	っていうのは、まずありますんで、
2:08:22	今現状そういうものがないので、
2:08:26	同時に、その堆積物調査っていうのを行わなければならない。
2:08:31	ちょっとここ、あと、
2:08:34	ここでわかりにくかったのは申し訳ないんですが、
2:08:38	ある意味、言い換えると、堆積物調査を何でやるか。
2:08:43	ということにも繋がるんですね。
2:08:45	この火山灰調査で終わってしまえばそれで、
2:08:48	その活動性評価が終わってしまうんですけど、頭ではなくて今のところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:53	下がらずとかが出てきてるわけではないですから、
2:08:57	堆積図調査っていうの、いうものもやっていかなきゃいけない。
2:09:02	で、
2:09:03	ただその最新知見として、そういったその角閃石テフラというものが、
2:09:08	着目したらある程度の年代感というものは、示せる
2:09:13	示せそうだっていう文献があったので、
2:09:16	それで、そういった改めて角閃石っていうものに着目してみると、
2:09:23	ある程度その入っているっていうことがわかったので、
2:09:27	ただ、もちろんその角閃石だけで、
2:09:30	この火山灰調査としてばっちりの。
2:09:33	活動性評価ができるとは思ってもいない、いません。いないので、
2:09:38	同時にちゃんと堆積物調査っていうものを行って、
2:09:42	武さんご指摘のようにここで増しもしかしたら 20 万とか 30 万のが出てきてしまうかもしれないというところは、4.6. 2.4-層状のところ、
2:09:50	こういった 2. に出られた結果と、2.3 でやられた結果矛盾がないかどうかというのをここでチェックします。
2:09:57	こういったところで、その矛盾があるようであれば、
2:10:02	こういったところが、
2:10:04	こういったデータが使えて、取り立てたら使えないかっていう吟味をここでしようと。
2:10:08	いう今ちょっと構成になっております。ちょっとその辺がちょっと、ちゃんと伝わるような資料になってたっけ。江藤。私も、もう少し、
2:10:16	今、記載を充実させなきゃいけないなというふうに思っているところです。
2:10:22	ご指摘ありがとうございます。
2:10:25	はい
2:10:26	規制庁佐口ですご説明は、一応わかかったというか理解はしましたので、そうすると、やっぱり今の笹木さんのお話だと、やっぱりまたはいずれかって、やっぱりおかしいかなと思っていて、
2:10:38	あくまでも補強なのか、同時並行的にされて、やっていくのか、それとも、
2:10:49	言い方は良くないかもしれないですけど、どっちかが何か駄目だったら、どっちかに切り替えるのかそれとも、双方矛盾がないような形で、一応説明をする。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:02	という話であれば、これは同時並行的な話になると思いますので、ちょっとそのあたりはですね、説明が足りてないのか、それとももう、
2:11:13	根本的にこのいわゆるフローじゃないんですけど、ここの流れがおかしいのか。
2:11:20	その辺りをもう少しですねわかりやすくしていただければと思いますので、よろしくお願いします。
2:11:28	はい、ありがとうございます。
2:11:42	すいません規制庁鈴木です。
2:11:44	ちょっと、一通り聞いてみてそれぞれの状況がどうなってるかとか考え方の確認したんですけど、
2:11:51	さてと、これをどう、
2:11:54	次で議論するためにまとめていく、まとめていくかなんですけど。
2:11:59	ちょっとスケジュール的なところで見る等、
2:12:02	これが、
2:12:04	今日の資料とかですねこれが12月の頭とか、
2:12:08	いや、あの資料上はこういうことをやっていきますって何かこれから調査に着手するような定例書いているんですが、これが11月とか12月とかであれば、
2:12:19	こういう今回ですね10ページとかぐらいまで、回診機の堆積物であればというのを、に、なぜそういう話を持ち出してるかっていうその回診物語が、
2:12:30	書いてあるんですけど、そっから先の調査のところで、これからやるのであれば、いや、こんなデータもとらないとか、調査これからやるんだったらこういうこともやらないとねっていう、そういう議論を、或いは平場で、
2:12:43	やっていけばいいんですけど、ただいまからその部分を充実させたとして、おそらく会合で最短出かけたり議論したりしても、
2:12:53	1週間先になると、もう多分ボーリングなり資料としては取り終えても分析を進めていてっていうタイミングになるんですよ。
2:13:04	そのタイミングでその議論をしてもなあというのもあるんですけどね。
2:13:08	ただ、このままの資料だと、具体的にこういう調査こういうデータをこういうふうにとっていけば、示せますっていうのも、或いは調査として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:20	やるんこれやりなされます書いてあるんだけど今、ここまで進んでここまでできていて、あと、1ヶ月ぐらいで、まとまるんで、調査結果を説明します。サラサラでてくるのねっていう。
2:13:33	そのいずれにもならない気がしてですね。
2:13:36	どっちがいいかなというのは、パッと今日の説明を聞いて、何かこう、
2:13:42	中でいいですね、ここをしようっていうのが今決まったわけじゃないんですけど。
2:13:48	これーそれぞれ、ここまで進んで残る作業これなので、近々その結果を説明しますっていう、そういう流れの説明で作ることっちゃうのは可能ですか。
2:14:02	今だとどの断面にいるのかもわからずこれから何か
2:14:07	スタートするかのように書いてある部分をここまでは作業進んでるんでっていう。
2:14:12	そういう書き方で、近々その取りまとめますんでという。
2:14:18	も難しいですか。
2:14:38	中部電力天野でございます。
2:14:40	具体的にどの辺をどう直すかっていうのはちょっと私どものイメージできてないんですけど、例えば、
2:14:49	今日の資料でいきますと19ページ以降に追加調査の状況という形で、
2:14:55	出さしていただいております、例えば21ページで、
2:15:00	B F 4の南の方で、トレンチっていうのはもう、今掘っている。
2:15:06	状況にありますんでこういったところが進んでおりますと。
2:15:11	いう状況は記載できるけど、分析者はまだ平行してずっとやっているの で、先ほどの14ページのこの工程の中で、
2:15:21	そこが終わったら、ご説明できますという。
2:15:25	ことぐらいしか来。
2:15:27	ちょっと言えないって言えば言えないんですけど、
2:15:32	どんな、今鈴木さんのおっしゃるイメージってどう、どんな感じなん でしょうか。
2:15:38	ていうかですね、この資料分析って言って、多分資料を取るために穴を 掘りました資料を取りました分析かけてますその分析結果をもとに検討 しますとかって、
2:15:48	多分いろんな流れがあるわけですよ。ただ今日聞いてみると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:52	ここの資料をもとに、当日説明を、これこういうことですかって説明聞くと、半日いや今実はボーリングが終わってますだとか、
2:16:01	ここは取れてるんですけどとかって話は出てくると思うんですけど、いやそれを1個1個聞かないと、今どの段階にいるかっていうのも全くわからなくなっているんで、
2:16:12	個別個別のところ書き込むとどんどんどんどん文章が増えていくんであれば、
2:16:18	今どこまで進んでるんですか残りなんですかっていうのは、
2:16:23	これ、14ページ見て、
2:16:30	11月から、何ヶ月だ、1ヶ月2ヶ月3ヶ月4ヶ月かけて、
2:16:39	どこ見てもわからないですよ。だから、何で今日聞いているのはここで終わってるんすかボーリング終わってるんですかとか、多分比木2地点の方も何か露頭調査を知って帰って、
2:16:48	いやこれから宇都上載くんですかとかですね。
2:16:51	そういう何て、どこ見りゃわかるんですかね。1個1個聞かないとわからないんだとするとそれだけだからとした会合になりますし、
2:17:02	中部電力天野です。そういった意味では、調査状況の現状っていうのを、先ほど、
2:17:11	お話ししたような、
2:17:13	これ、12月末時点ですよ。そこから1ヶ月かけて特に何も進んでないっていうことなのかな。
2:17:21	すいませんここのあたりを最新化で例えば今日なんかでここまでは終わっていて今何をやってるかっていうことを1枚に整理して、追加するっていうことであれば、
2:17:33	当然可能です。で、実際のところは11月からずっとやってるんですけど、もともと借地とかしたりしているので、本当に
2:17:44	今大体掘り上がってきたっていうのが、
2:17:48	全体の進捗状況っていうところですね。
2:17:53	なんでその辺りが見えるようにするっていうことは、可能でございます。
2:17:59	すいませんスズキです。
2:18:02	まず全部では何か20ページとかはいはいはいはいはい。そんなところに、
2:18:08	いや、もうこれ結構な県土上実施予定エリアとか書いてますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:12	だからここではボーリング何本ぐらい掘ってますとかそういうアップデートができるっっちゃうことですね。
2:18:18	資料は取れたんであとは分析段階に入ってますっていうのは、14 ページなんかをとも、
2:18:25	使いながら説明していけるってそこはできると。
2:18:29	はい。19 ページ以降のこれ、ちょっと古くて再掲にしていますのでこれをアップデートすることが十分可能でございます。
2:18:44	はい。
2:18:45	うん。
2:18:51	ちょっとなかなか、今日の話聞いてると調査の過不足だとか
2:18:56	っていうところの話が、かなり難しそうかなと思ってたので、
2:19:00	ちょっと進捗として今ここで、あとは、あとは、分析をここまであと進めて、近々説明できますとか、説明しますっていう
2:19:10	こういう断面に来ちゃってるので、
2:19:12	進捗として今ここまで来てるんで後は取ったサンプルを分析かけて、
2:19:18	もしそれで、思ったようなそのサンプルサンプルで例えば貝化石とか、木ですかねいうものが出て出なかったとか、そういうのがあれば、また状況変わるんでしょうけど、
2:19:29	もう、ボーリングなりですね、トレンチなりっっちゃうのは進んでるんであとは取ったサンプル分析かけて、
2:19:36	いついつぐらい説明できるんです確かにそれだったら1ヶ月ぐらいまで待つと説明が聞けるのねっていう。
2:19:43	層厚そういう投資があれば、それはそれで、
2:19:47	今回会合として成立するのかなと思うんですけど、ちょっと時点も時点なので、調査軸操作の進捗からすると、
2:19:56	じゃあちょっと数、どうしますかね14 ページのスケジュールがあつて、
2:20:01	19、20 ページとか20とか20とかこの辺、21とか、
2:20:08	こういうところで少し現時点の進捗に合わせるような形にして、
2:20:13	ていうことですかね。ちょっとその辺資料工夫お願いします。
2:20:20	犬飼アマノでございます承知いたしました。
2:20:34	規制庁ニシキです。
2:20:35	こちらからの確認は大体以上になりますけれども、中部電力の方から、
2:20:43	何かございますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:51	はい中部電力天野でございます特にございません。
2:21:10	はい。規制庁ニシキです。
2:21:14	今日いろいろ確認させていただきましたけれども、資料を修正いただくとなればどれぐらいかかり増加の見込みはございますか。
2:21:35	はい。中部電力浜野です。ちょっとどこまでかっていうのもあるんですけど、1週間もあれば、しっかり直したいと思っておりますが、
2:21:44	もうちょっと早い方がよければそれも、
2:21:48	努力をいたします。
2:21:51	はい。規制庁ニシキです。わかりました。ひとまず1週間ぐらいでできそうだとということでこちら確認できましたらまた細かい何かありませんロジ。
2:22:01	の方にはいお伝えいただければと思いますのでよろしく願いいたします。
2:22:07	はい、承知いたしました。
2:22:09	はい。それでは本日のヒアリングの方を終了したいと思いますね。お疲れ様でした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。